

CHUKYO UNIVERSITY

中京大学 同窓会 通信

[2017 vol.35]



中京大学同窓会の会員証としてUCSカードが一体化!

「中京大学 UCSカード」は中京大学同窓会の会員証としてのみならずクレジットカードとしても国内・海外で幅広くご利用いただけます。さらにUCSが提供するうれしい特典が満載のカードです。

入会費
年会費
無料!

校友会のカードとして

中京大学UCSカード会員のショッピングご利用金額の一部が同窓会へ寄付され、奨学金として有効に活用されます。

ユニグループ店舗でおトク!

①UCSカード会員さま5%OFF感謝デー

<p>APITA 〈毎月19・20日〉</p>	<p>UCSカードで 5%OFF</p>	<p>ピアゴ 〈毎週金曜日〉</p>	<p>UCSカードで 5%OFF</p>
-----------------------------	--------------------------	------------------------	--------------------------

※当日はUCSカードでの全額お支払いに限り会員割引でお買い物がいただけます。※直営売り場が対象です。※定休日の場合もございます。また金券類、たばこ、書籍等、一部指定商品は除外です。

②Uポイント2倍デーでお得!

<p>APITA ピアゴ 〈毎週日曜日〉</p>	<p>〈毎週土・日曜日〉</p>
------------------------------	------------------

※各店直営売場および一部専門店が対象です。※UCS QUICKPAYご利用分は別途計算の上、進呈いたします。

アピタピアゴでは、毎週日曜日、サークルK・サンクスでは毎週土・日曜日に中京大学UCSカードでお支払いいただくと、Uポイントが2倍になります。

インターネットショッピングでおトク!

①ポイントが貯まる「ぼいん貯モール」 限定

ぼいん貯モール経由なら
Uポイントが最大30倍!!
(2016年12月現在)

「ぼいん貯モール」とは、UCSネットサーブ会員さま限定のインターネットショッピングモールです。

定番のネット通販サイトから旅行予約サイトまで、暮らしに役立つ人気のショップが勢揃い!インターネットショッピングはぼいん貯モール経由が断然お得です。

●ぼいん貯モールをご覧くださいはこちらから

ぼいん貯 <https://poincho.ucscard.co.jp>

※ご利用には、「UCSネットサーブ」利用登録(無料)が必要です。※PC版・スマホ版・携帯版では参加しているショップが異なります。※ご利用方法は、ぼいん貯モール内でご案内しております。内容を十分ご理解いただきご利用ください。

UCSカードは安心して、ご利用いただけます。

<p>カード盗難保証</p>	<p>万一、紛失・盗難にあわれても紛失のお届け日より60日前からの不正利用を本人会員様・家族会員様ともに保障いたします。</p>
<p>ショッピング安心保険</p>	<p>UCSカードでご決済・ご購入いただいた商品の、破損・盗難・火災による損害を商品購入日より90日間補償いたします。(1品1事故5,000円~100万円・自己負担3,000円) ※一部補償の対象とならない事故・商品(食品、眼鏡、自転車、携帯電子機器等)がございます。</p>

※各サービスの詳細な内容や、ご利用方法については、カード送付時に同封の「UCSカードご利用ガイド」をご覧ください。

お問い合わせは

カーライフでおトク!

①宇佐美直営店での会員特典 宇佐美

<p>・ガソリン・軽油・灯油(燃料油)</p> <p>2円/ℓ引き</p>	<p>・タイヤ・オイル・バッテリー等 ・カーケア商品(燃料油以外)</p> <p>5%OFF</p>
--	---

※宇佐美純油の店舗には直営店と代行店があり、割引サービスは直営店のみ対象となります。※消費税、金券、非課税商品等は割引の対象外となります。※やむを得ない理由により内容が変更・中止となる場合がございます。※店舗により取扱のない商品もございます。

旅行でおトク!

パックツアー優待サービス

「シティアース予約センター」へパックツアーのご予約をお申込みいただき、「UCSカード」でお支払いいただくと、

国内・海外のパックツアーが基本旅行代金から **最大8%割引!!**

〈対象のパックツアーの一例〉

<p>8%OFF</p>	<p>5%OFF</p>	<p>3%OFF</p>
<p>5倍</p>	<p>2倍</p>	<p>2%OFF</p>

※日帰りツアー、WEB限定ツアーなど一部お取扱いできないツアーがございます。※ご不明な点は「シティアース予約センター」へお問い合わせください。

パックツアーのご予約・お問い合わせ シティアース・予約センター
TEL.0120-606-758 (AM9:30~PM6:00/日・祝日休業)

使えばおトクが貯まる「Uポイント」

Uポイント UCSカードでのお買い物に応じてポイントが貯まって、商品との交換ができる特典です。

<p>ポイント有効期限は最長2年</p>	<p>選べる7つの商品</p>
<p>ご利用200円(税込み)ごとに1点のポイントが貯まります。ポイント有効期限内にさらなるポイントアップを目指してください。</p>	<p>ポイント有効期限内ならいつでも商品交換いただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユニ・ファミリーマートグループ商品券 ○ユニコ電子マネー ○ギフトカード ○図書カード ○JALマイレージバンク ○(財)日本ユニセフ協会への寄付 ○日本赤十字社への寄付

★詳細はカード送付時に同封のご利用ガイドをご覧ください。

※本サービスは2016年12月現在のものです。予告なくサービスの変更・中止をさせていただく場合がございます。

中京大学校友会本部(同窓会・教育後援会事務局)

TEL 052-835-7111(大学代表) 〒466-8666 名古屋市中区八事本町101-2
TEL 052-835-7140(校友会本部) FAX 052-835-6069 中京大学URL http://www.chukyo-u.ac.jp 校友会本部e-mail koyo@mng.chukyo-u.ac.jp

母校の絆にみちびかれ そしてまた一歩、先へ

大学とは、やがて社会へ出てどう生きるか。その答えを見出すための真剣な試行錯誤の場であり、
キャンパスで切磋琢磨した学友は、卒業した今もなお、高め合い、伸び合える関係といえるのではないですか。
そして母校・中京大学の下、その絆は世代を超えて縦横無尽に広がり、
ときに一歩先へと、人生を奮い立たせてくれることでしょう。

同窓会通信 2017 vol.35 【CONTENTS】

- 01 同窓会長ご挨拶
- 02 学長ご挨拶
- 03 Special Contents / 梅村 清英総長・理事長 インタビュー
- 07 特集1 / 活躍する同窓生 今、Chukyoアイデンティティはひときわ輝く
- 11 特集2 /
リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック報告 世界で輝いた中京オリンピックアンズ
- 14 〈学術とスポーツの融合〉
梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議のご紹介
- 15 活躍する同窓生 キャンパスが生んだ美の表現者たち
- 17 同窓生のお店紹介 真剣味こそ、こだわりの原点
- 19 第19回 ホームカミングデー
- 21 第13回 新春賀詞交歓会
- 25 中京大学同窓会組織・役員紹介
- 27 各支部からのたより
- 33 支部会報告
- 45 校友会本部からのお知らせ



ご挨拶

五〇〇年ほど前、スペイン・ポルトガルは西・東に向かってインドを目指し航路を開拓していきました。コロンブスやヴァスコ・ガマなどの開拓者はどんな思いだったでしょうか。当時の科学知識と技術を信頼し、勇気をもって帆を上げたのでしよう。行く手に広がる果てしなき海に向かって。

梅村学園は一九三三年中京商業学校の開設以来、間もなく一〇〇周年を迎えます。一九五四年に中京短期大学が開学しました（二年後四年制の中京大学に）。開学時の入学者は七十五名（男子六十九、女子六）で、小さな一歩でした。今や、卒業生の数は十二万三千余名となっています。各地の同窓会で何う草創期を過ぎ、こされた方のお話によれば、遠く郷里を離れて集い、まだ粗末な教育施設でも望みを抱いて学び、頼るべき先輩もいない中、未知の世界に巣立っていかれました。苦勞多きところ、まさに皆さんがパイオニアでした。

パイオニア精神をもって拓いていく

パイオニア精神をもって 情熱という名の帆を上げよう

学長 安村 仁志

この先の世界時代とはどんなものでしょうか。これまでの経験だけでは対応しきれない、まさに「予測困難な時代」です。そこで、長期計画NEXT10も「自ら判断し、行動する、しなやかな知識人の育成」を目標に掲げています。ある新聞社の「大学ブランド・イメージ調査（東海・北陸編）」によれば、本学は「個性として「エネルギー」、学生は「個性」「精神的にタフ」「面白味がある」、キャンパスには「活気がある」と映っており、全体で三位でした。これは大きな強みです。学生たちには、荒波、嵐も待ち受ける海に、勉学を通して得た知識という「レーダー」、さまざまな人との出会いで磨かれた個性・タフネス・元気をもって、勇躍出帆して欲しいものです。《大学の顔》として学生、卒業生の皆さん、「次代に向かって帆を上げよう」。



ご挨拶

平素は同窓会活動にご理解ご協力を賜り、誠に有難うございます。

二〇一三年五月から同窓会長としての大任を仰せつかっておりますが、昨年三月に京都大学大学院を定年退職し、四月からわが中京大学で客員教授として国際教養学部、スポーツ科学部及び大学院で講義をしております。

「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を心に刻み、中京大学のますますの発展と後輩の教育・人材育成に、甚だ微力ですが、精一杯努力する所存でございます。

さて、昨今のNEXT10から続く改革の積み重ねは、スポーツ将来構想会議、さらには梅村学園創立一〇〇周年事業へと発展し、これから先、母校はどんな夢を見せてくれるのか。同窓生の皆様もきっと、期待に大きく胸を膨らませていらつしやることでしょう。また、常に立ち止まることなく新たな試みにチャレンジ

母校の発展、同窓の活躍を 己の成長へのモチベーションに

同窓会長 森谷 敏夫

する母校の姿を励みに、日々、奮闘されている同窓生も多いことと存じます。

そこで今年の同窓会通信では、働き盛りの若い世代に焦点をあて、その活躍ぶりなどを紹介させていただきますました。エネルギーでパイタリテイに溢れた彼らの姿が、全国十万人超の同窓生を鼓舞し、若い同窓生の憧れや共感を呼び、同窓会活動への参加につながることができました。

大晦日に行われたボクシングの田中恒成君の鮮やかな世界タイトル二階級制覇は、中京大職員、在校生、卒業生、そしてそのご家族の皆様にご感動と強い絆を与えてくれたのではないのでしょうか。この勢いのまま、母校のさらなる飛躍にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

梅村学園総長・理事長に
就任して

梅 村学園第四代理事長に
二〇二三年秋に就任し、
二〇二六年春、新たに総長とい
う職務が加わりました。

本学園には、中京大学をはじめ、
中京大学附属中京高等学校、
三重高等学校、三重中学校、
梅村幼稚園と五つの教育機関
があります。総長は、それらす
べての具体的な教育内容、方針
について統轄していく立場です。

総長・理事長となつて約一年、
その責任の重さを改めて痛感
しています。と同時に、今日ま
での月日の過ぎる早さを思う
と、それもまた私自身、充実し
て過ごせた証ではないかと感じ
ています。

**風を駆け
心身をリフレッシュ**

理 事長就任前より推進し
てきた中京大学長期計
画「NEXT10」に加え、学園
創立一〇〇周年を見据えたプ
ロジェクトも始まり、ますます
多忙となりました。
しかし、そろそろ五十路の入

り口を前に、体調管理の必要
性も感じるようになりました。
あちこちガタがきたと申しま
すか(笑)、経営のトップに立つ
者としては、まず心身の健康
が大前提だろうと、一昨年、周
囲に「肉體改造を始める」と宣
言しました。筋トレと五キロ
程度ランニングを週に二回、
ずつと続けています。

最初は一キロ走るだけで息
を切らしてしまう始末でした。
しかし、そんなところから始め
次第に体になじんできました。
今ではちょうどいいリフレッシュ
になっていきます。仕事上のアイ
デアがわき上がってくることも
多いですね。同窓生の皆さんに
もお勧めしたいところです。

**忘れがたい母校の思い出
今も濃く、温かい**

学 生の頃を振り返ります
と、経済学部の第一期
生で、母校に対する思い入れに
は強いものがあります。自分
が何期生なのかを知らない同
窓生は多いでしょうが、やはり
第一期生として自分たちがつ
くり上げていくような感覚が
ありましたし、他の学年にはな

学校法人梅村学園 総長・理事長

梅村清英

い絆も育まれました。
そうした中で、強烈に残つて
いる思い出といえば、故・沈晩燮
先生のゼミと経済原論の授業
でしょうか。

経済学部の初代学部長であ
り、商学部時代から単位をな
かなか与えないことで有名な
先生でしたので、ご記憶の同窓
生も大勢いらっしゃるでしょう。

経済原論は当時二年次の必
修科目で、沈先生オリジナルの
テキストの日本語がなかなか難
解だったのですが、先生ご自身
は授業の上手な方でしたので、
きちんと講義さえ受ければ、ど
んどん理解が進んでいきました。
ほろ苦い思い出ではありますが、
学びの面白さを教えていただい
た、ありがたい恩師です。

私自身、教壇に立っていた頃
は、沈先生のような厳しい指導
者ではなく、むしろフランクな
教員であったと思います。

ただし、学生たちには就職
活動の際や将来の社会生活に
おいて、自分の考えを人前でき
ちんと述べることでできる人物
になつてもらえるよう、ゼミ合
宿で模擬面接をするなど、日
常的に何らかの工夫を凝らし
ていました。それを彼らがどう

受け止めていたか分かりませ
んが、私としては、学生たちの
変化を楽しみにしていた感じ
でしょうか。

**先人の努力と
熱きエールこそ原動力**

経 済学部の教員時代には
同窓会副会長も務めて
いましたので、同窓会支部の皆
様と全国各地でお会いするた
びに熱いエールを頂いて参りま
した。

今日の中京大学があります
のは、先人の努力の賜物であり、
同窓生の皆様、教職員、そして
保護者の方々に全力でサポー
トいただいたおかげと改めて感
謝を申し上げます。

今でも支部同窓会などで全
国各地を訪問させていただく
たびに、多くの方々に支えられ
て中京大学の今日があるとい
く感じております。

**卒業生連携を本学の
特長に**

と、二〇一四年度からス
タートしたNEXT10
は「教育」「研究」「社会連携」

文武不岐の精神で
真剣味の、さらなる殿堂へ

Profile

1990年度経済学部卒・1995年度経済
学研究科博士課程単位取得。博士(経
済学)。教壇デビューは1996年。教授、
経済学部長、経済学研究科長などを歴
任し、2013年10月より梅村学園理事長
に就任。2016年度より梅村学園総長・理
事長となり、現在に至る。



「国際化」「卒業生連携」と五つの骨子からなっています。その中の卒業生連携では、現役学生に対する就職アドバイスや採用試験の面接研修会など、教員や警察官となった同窓生の皆様による在学生の支援が、おかげさまで大変うまく機能しており、それが本学の特長にもなってきました。

一昨年には「愛知県庁職員会」や「法学部同窓会」、昨年には「文学部同窓会」が誕生しました。今後も新たな同窓会が発足することを期待するとともに、公務員や企業の方々とかを問わず、ぜひご自身の経験を母校の後輩たちに活かしていただければと願っております。

今なぜ自校教育なのか

また、このNEXT10では「建学の精神に基づいた教育基盤の整備」を推進事項の一つとしており、その一環として「自校教育」の取り組みラムへの導入を目指してきました。

建学の精神に継承される水戸学の教え

もちろん、梅村学園がそれだけの文化や歴史的な背景を持つているからこそ成り立つカリキュラムです。

同窓生の皆様の多くは、あまり「存在しないでしょうが、梅村家四代・清茂氏が徳川光圀の「大日本史」編纂に携わったため、水戸藩に仕えて以来、梅村家は水戸藩家臣として幕末を迎えました。晩年、清茂氏が開いた「清信塾」では、藩士師弟に教育が行われ、梅村家はこれを代々、受け継いだとも伝えられています。

また水戸学の教えを説いた『弘道館記述義』に、「文武不岐（ぶんぶふき）ぶんぶわかたず」という言葉があります。ひらたく解釈すれば「文武両道」ですね。「文武無き武は愚、武無き文は弱である。したがって文武は不岐でなければならぬ」という精神がこの言葉に込められています。これを学園創立者である清光先生が一九



二三年、中京商業学校を開設した折に、校訓「真剣味」として踏襲しました。

さらに初代理事長である清明先生によつて、文は学術、武はスポーツと置き換えられ、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」と明文化されました。

脈々と受け継がれてきた文武不岐の精神、総合的で先進的な学びを実践した水戸学が本学園の源流です。昨年、そんな教育のルーツである水戸市

と包括連結協定を結び、この事業の第一弾として水戸市民の皆さんに講演をさせていただきました。

二〇二三年、梅村学園創立一〇〇周年にむけて

協定を締結するにあたっては水戸を訪ね、清光先生が教員生活を送った茨城県内の学校、かつての住居跡など足跡をたどりました。清光先生はやがて水戸を

母校の源流をたどることを感じる誇らしさ、見えてくる未来。

社会に発揮される真剣味こそ、梅村学園一〇〇年の計なり。

離れ、吉田松陰の松下村塾のある山口県萩市などで教員生活を送り、新聞記者として一年間働いたのち、中京商業学校を開校されました。水戸学をベースに教育者として研鑽を積み、記者となり見聞を広めた上で、自分の理想とする学校をつくりたかったのかと、非常に感慨深いものがあります。

中京商業学校の誕生からあと六年で一〇〇周年を迎えます。これに向けて、さまざまな情報を集めながら発信していきます。まずは一〇〇周年事業の第一弾として、水戸藩の学問・教育史の研究者である茨城大学名誉教授の鈴木映一氏をお招きし、名古屋キャンパスで記念講演会を開催しました。

また、一〇〇周年を三年後に控えた二〇二〇年は、東京オリンピック・パラリンピックも開催されます。数多くのトップアスリートを輩出する本学園としては、これに照準をあてた「梅村学園・中京大学ス



ポーツ将来構想会議」の事業も進行中です。その一つとして豊田キャンパスにスポーツミュージアムをつくる構想もあり、まずはこれを確実に実現していきたいですね。

一〇〇周年事業については昨年五月、事業を推進するための「梅村学園一〇〇周年記念事業委員会」を発足し、具

体的な中身の検討が始まりました。メンバーは五つの教育機関からまんべんなく集まってもらいました。

中京大学からは学長、副学長をはじめ、同窓会長や教育後援会長なども一員となっています。オール中京、オール梅村学園の下、各種記念事業を推進していく方針です。

センタービル完成目指し一致団結したあの頃

かつて開学四〇周年記念事業として、センタービル建設のための寄付金を同窓会や教育後援会の皆様に、ご協力いただいたことがあります。おかげさまで地域の核となるような立派な施設ができ、そこでは関係者を招いた盛大な式典が開かれ、喜びを分かち合いました。あの頃は、組織の勢いと申しますか、ひとつの目標に向かって皆が一致団結した時代でした。

学園創立一〇〇周年というさらに大きな節目を迎えるにあたり、総合大学としてさらなる飛躍を遂げるためには、こうした流れを作っていくかなければなりません。

今後、教育環境の整備も継続して取り組む予定です。世界レベルに近づくほど費用がかさんでしまうアスリートたちの支援も外せません。そのためにも一〇〇周年事業において、しっかりとした寄付金制度もつくり上げていくことになるでしょう。

真剣味を未来の羅針盤にNEXT10をはじめ、さまざまな改革の目指すところとしては、学術とスポーツの、さらなる殿堂をつくり上げることに尽きるでしょう。

中京大学としては、今後、名実ともに中部地区ナンバー1の私大となりますよう、そしてまた、その先は、日本有数の大学として、先進国やアジア諸国からも注目されるような大学となれるよう前進するのみです。

さて、「真剣味は成功のアルファ（最初）であって、又オメガ（最後）でもある」とは校訓「真剣味」に関する清光先生の言葉ですが、社会においても通じることではないでしょうか。

私自身、これを肝に銘じ、すべての改革をしっかりとやり遂げる所存です。同窓生の皆様も、ぜひ真剣味を実践していただきながら、どの業種の方にも現役学生をじきじきに指導いただけるような、卒業生連携を期待しています。

今、Chukyoアイデ ンティティはひとときわ輝く

パワフルかつ社会での適応力の高さは、中京大OBOGの伝統的資質。

それは今、各界の第一線で活躍する若い卒業生たちにも、しっかりと受け継がれているようです。



川井ファームでは、自然な土がいのち。鬼怒川下流の肥沃な大地に手づくりの堆肥を使用。安易に農業に頼らず、仕掛けで害虫を防ぐなど、手間ひまを惜しまない姿勢がおいしい作物を育てる。

教 員から農家への転身。最初
は不安だらけでしたが、身
近に同級生の就農者がいてくれた
こともあって、悩みも相談しながら
やってこられたのは幸いでした。

この仕事の難しさといえば、やは
り自然相手です。天気や天候
の急変により、思い通りにいかない
ことが多々あるということ。われわ
れ人間にできるのは、天気天候の
データを細かく収集していき、ダ
メージを最小限に抑えられるよう
努力することくらいでしょうか。

また、できる限り農薬を使わな
いよう、電灯を使った害虫対策や
土づくりなど、手間も時間も要し
ますが、しかし心を込めて育てた
作物を食べていただいたお客様か
ら喜びの声が聞けたときは、とて
も嬉しいですし励みになっています。
これからも美味しく安全なもの

緻密なデータの収集分析で、
自然を味方に、
こだわりの農法を実践

を作り続けていけるよう、日々、研
究を重ねていきたいですね。

学生時代、全国のあちこちから
集まった仲間と過ごした時間は、
かけがえのないものであり、母校で
過ごした四年間そのものが、今の
生活を送る上でとても役に立って
いると思います。

昨今の若者の農業離れや高齢化
で、農村地域ではますます耕作放
棄地等が増えていくと予想されま
すが、私も若手農家の一人として
農地の集積を進め、経営規模の拡
大を図っていきたくと考えています。

多方面で活躍されている同窓生
の皆さんに負けないよう、一意専
心、これからの事業の発展に取り
組んでいきたいですね。



2000年度
卒業

川井ファーム代表

川井 保明さん

2000年度 体育学部武道学科卒

母校を卒業後、子どもの頃から夢見ていた中学校の体育教員に。しかし5年間の充実した教員生活にピリオドを打ち、「食の大切さを伝え、つながる農業」を目指して農業家に転身。できる限り農薬を使わず、土づくりにこだわって農業を実践する。川井ファーム代表。栃木県出身。



栽培する作物は、水稲50ha、大麦14ha、グリーンアスパラガス38a、玉ねぎ50a、ショウガ30a、ホウレン草50a。独自の手法で保たれた鮮度が自慢。



【購入を希望される方はこちらまでご連絡下さい】 the.kawaifarm@gmail.com



2005年度
卒業

特定非営利活動法人ICAN 海外営業部長

吉田 文さん

2005年度 国際英語学部国際英語学科卒

岐阜県出身。2009年より特定非営利活動法人ICAN(アイキャン)に就職。ICANはフィリピンでの活動経験を活かし、2016年からジブチ共和国への緊急救援も開始。「今後、新たな活動地を展開できるよう経験を積み、さらに学んでいきたい」と吉田さん。現在、海外営業部長を務める。
URL <http://www.ican.or.jp>



パヤタスごみ処分場に暮らし、自力で生計を立てようとフェアトレード品づくりに取り組む人への助言も。大切なのは「ICAN(できること)を増やすこと」。



中東イエメンの紛争から逃れ、多くの人が避難生活を送るジブチ難民キャンプにて。その惨状を社会に伝えるのも活動の一つ。

ともに困難と向きあえるから、
挫けず、また足を踏みだせる

国 際英語学部の第一期生で
す。大学では正しい英語を
話すことより、多国籍な先生方に
物事を自分の頭で考え、自分の意
志と言葉でグローバルに発信してい
く力を培っていただきました。

世界の貧困問題について掘り下
げるようになったのは、学部の課題
がきっかけです。また在学中に経
験した二度の海外研修に加え、約
一カ月間過ごしたインドで、貧富の
差が命の重さまで左右する現実を
目の当たりにし、卒業する頃には、
そんな世の中を変える一助となり
たいと決意が固まっていました。

ICANの一員となって八年。フィ
リピンを中心に、路上や紛争地で



本部入口にはフェアトレード商品がずらり。この購入以外にも「書き損じハガキ1枚で、ごはん2杯分の価値があります。子どもたちの命を守る活動にご協力いただける」と有難いですとのこと。

生活し、危機的状況にある子ども
たちが安心して暮らせるよう、現
地の人々とともに教育や医療の提
供、被災地への緊急救援などの活
動を行っています。私の本部での役
割は資金集めや事業報告書の作
成、広報などさまざま。路上の子
どもたちの権利を守る事業もあり、
年数カ月は海外に滞在しています。
貧困問題は国の方針一つで、それ
まで懸命に取り組んできたことが
ゼロになってしまいうることも。一
体、自分は何と戦っているのか。そこ
に身を投じることに価値があるの
か。迷いが生じる時もあります。け
れど貧しさから、生きる意味すら
見出せずにいた子どもたちが、IC
ANの活動をきっかけに、「人生を変
えたい」「自分もできることがある
はず」と一緒に踏み出してくれる。
そして、その姿に私自身、勇気づけ
られています。それを成果と呼べる
か判りませんが、「微力だけれど、無
力ではない」と信じて、これからも取
り組みを続けていきたいと思っています。

【書き損じはがき送り先】〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須3-5-4 矢場町パークビル9階「ICAN本部」

今、Chukyoアイデンティティは ひとときわ輝く

トヨタ自動車「総務・人事本部・スポーツ強化・地域貢献室」地域貢献グループ担当課長、スケート部監督

寺尾 悟さん

1997年度 社会学部社会学科卒

在学当時からショートトラックスピードスケートのトップ選手として君臨。現在、トヨタ自動車「総務・人事本部・スポーツ強化・地域貢献室」地域貢献グループ担当課長であり、スケート部監督。2016年10月に日本スケート連盟理事就任。2010年より国際スケート連盟技術委員となり、2016年6月再選。



五輪4大会連続出場、全日本選手権総合優勝12回など、現役時代の経験がチームのマネジメントに生かされる。「かけひき」が真骨頂のショートトラックで、日本のランクは世界7、8番。寺尾さんいわく「2022年の北京大会で結果を出すのが最大の使命」とのことでした。



1997年度
卒業

会

社経営をしてみたい、という思いもあつて商学部へ。下宿先のトイレは共同、お風呂もな

く、四畳半一間に暮らす苦学生でしたが、仲間に恵まれ、かけがえのない知己を得ることができました。今の会社に入社してから、広告代理店に勤務するその親友と一緒に広告をつくり始め、幸和ハウジングという会社を大きくすることができました。もう何十年ものつながりになりますが、卒業後それぞれの生き方をしている中で、同窓生とこれほど長い付き合いになるとは思いもしませんでした。有難い縁です。私自身、何もないうところからのスタートでしたので、真剣味というか常に一生懸命でしたし、「知行合一」をモットーに、人の三倍働いてきたという自負があります。

ただ、企業経営に波風はつきものの。社長就任前ですが、倒産の危機に立たされたことがあります。その時、思ったのが、「地域貢献していない企業はいらない」ということ。



展示場は浜松市、磐田市に4カ所、愛知県豊橋市に1カ所の合計5カ所。今後、東三河エリアにも拡大予定で、「中部7県で選ばれるハウスメーカー」を目指す。

『しあわせたしざん』を合言葉に、
その後の人生を
豊かにする家づくりを提案

じつは地元には「天竜材」というブランド材があり、その虫害木などは伐採後、放置されるため、地域の山はとても疲弊しています。近年、これを何とかできないかと、地域に呼びかけ、伐採木を活用したハイブリッド材(天竜エコウッド)の開発などにも取り組むようになりました。学生時代でしたか、同期だった現梅村清英総長・理事長と「どんな立場であれ、いつかは地域に必要とされるようなことをやりたい」と語り合ったことがあります。それがどこかに引つかかっていたのでしょう。お金にはなりません、誰かがやらないと…。それも中京大スピリッツなのかもしれないですね。

学業とスポーツ、
ともに打ち込めた学生時代が
私の根幹を築いてくれた

ト

ヨタ自動車にはスポーツに専念しやすい契約社員でなく、正社員として入社。そのため入社後三年目くらいまでは、一日働いてから夜間に練習する毎日でしたが特に苦痛に感じることはありませんでした。高校二年生から十七年間、日本代表として滑り続けながら、大学を出たら銀行マンになりたいと、勉強にも真面目に取り組みできたからだと思います。

その後、オリンピックを目指して、トレーニング環境の整った中京大学を選びましたが、社会学部に進み、皆と同じように授業もきちんと受け、学生らしい生活を過ごせたことで、学業とスポーツ、どちらにも真剣に取り組める姿勢が習慣化できたのでしよう。

今や学業は仕事に、スポーツは監督業やスケート連盟のさまざまな役割に置き換えられるようになりましたが、それに向きあう姿勢や熱量は変わっていません。

会社の仕事としては、講演会やスポーツ教室、販売店を通じたイベントと、弊社所属のアスリートを活用した地域貢献活動をはじめ、オリンピック・パラリンピックなど日本代表候補のサポートなど、人事の枠を超えた幅広い内容となっています。一方、国際スケート連盟の技術委員として、ルール改正や国際大会の運営など、優先すべき仕事もたくさんあります。ひと月の半分はスケート関連で国内外への出張があり、過密すぎると感じることもありますが、今は年齢的にも脂がのった時期。与えられた仕事を大事に、一つひとつしっかり取り組みたいですね。

弊社スケート部のトレーニングを支援いただいている関係もあって、母校とのつながりは深いですね。人材採用の際、社内で中京大学への評価が高まっているのもOBとして誇らしい気持ちになります。

もちろん私だけでなく、母校とつながること、仕事や人生に役立つことが皆さんもあると思います。一歩踏み出して、活動に参加いただけたらと思います。

幸和ハウジング株式会社 代表取締役社長

浅岡 則彦さん

1990年度 商学部経営学科卒

卒業後、名古屋の大手デベロッパーに就職したが、3年後、バブル崩壊の煽りを受け、浜松市内の建売住宅メーカー・幸和ハウジングで再出発。めきめきと頭角を現し、38歳で代表取締役社長に就任。約10年で会社の規模は倍増、その快進撃は止まらない。福井県出身。
URL <http://www.kowa-h.com>



サラリーマンでも建てられるのが住まいの“適正価格”であり、我慢できるローコスト住宅を徹底追求。2016年度にはグッドデザイン賞(天竜エコウッド)やハウス・オブ・ザ・イヤー(2年連続受賞)、キッズデザイン賞など、数々の賞にも輝いた。

1990年度
卒業



世界で輝いた 中京オリMPIアンズ

昨夏、ブラジル・リオデジャネイロで開催された「2016オリンピック・パラリンピック競技大会」。参加国・地域は200以上（パラリンピックは160カ国以上）という世界最高峰のスポーツの祭典に、中京大学関係者からは現役学生1名を含む7名のアスリートが出場しました。そんな「中京オリMPIアンズ」のリオ大会でのエピソードや活躍ぶりをご紹介します。

パラリンピック陸上競技／男子400mリレー 銅メダル

2013年度体育学部卒
トヨタ自動車株式会社

大学3年生でパラリンピック・ロンドン大会に出場（4×100mリレー4位）、100m男子（T44）日本記録保持者。

佐藤 圭太



諦めなかったからこそ、掴みとれた銅メダル。切り拓くことのできたアスリートへの道

リオパラリンピックでは、陸上四〇〇メートルリレーと個人一〇〇メートルの二種目に出場させていただきました。

二〇一二年のロンドン大会、二五年の世界選手権と日本チームは四位にとどまっております。今回も一着のアメリカが失格し、繰り上がって獲得できた銅メダル。四着になることは、事前のタイムから予測していたことですが、ただそこで自分たちの力を出し切れればチャンスは掴

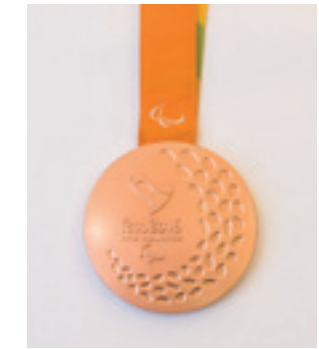
めるかもしれないと、諦めずに挑んだことが結果につながったと喜んでいます。悔しいのが予選で敗退した個人種目。11秒77の日本新記録を出すことはできましたが、世界の壁の厚さ、力の差を見せつけられた思いでした。これまで自分自身を変えていけば走りも変えられると、ひたすらトレーニングに打ち込んできましたが、私自身が開発に携わり、昨年四月、ようやく完成した義足を使うようになって、その重要性に気づきました。



写真提供:中日新聞社

成長できる喜びとともにあった大学時代

じつはリオ大会をきっかけに競技を始めたという人が増え、自分ももうかうかしていられなくなりまして。三年後の東京大会に向け、義足を見直しつつ、確実に日本代表入りできるように成果を積み上げていきたいと思っています。



け入れられない自分もいました。やがて高校に入り、リハビリのつもりで始めた陸上競技を通して、パラリンピックのアスリートと出会い、「カッコいい」とすべてが吹っ切れた。中京大学の陸上競技部では、ハードな練習に打ち込みました。周りも真剣でしたから、挫折や迷いどころか成長できることが嬉しく、四年次には主将を務め多くを学びました。思えば、頑張ったのはほんの一瞬のこと。母校のおかげで今がある。と感謝しています。

オリンピック水泳／男子800mリレー 銅メダル

2006年度体育学部卒
2008年度体育学修士修了

200mバタフライで2大会（北京、ロンドン）連続銅メダル、ロンドンでは男子400mメドレーリレーで銀メダル獲得。

松田 丈志



全身全霊で挑み続けてきたからこそ、競技人生に一点の悔いなし

リオ大会後、岩手国体を最後に二十八年度の現役生活にピリオドを打ちました。そもそも引退か、オリンピック出場を目指すのか。二十八歳で出場したロンドン大会では、0.25秒差で金メダルを逃し、限界まで自分を追い込んできたはずが間に合わなかった。四年先は三十二歳です。全身全霊で挑んでいけるのか。二年ほど悩みましたが、最終的に苦

しい方へ舵をきったのは、諦めてしまいう人間になりたくなくなつたからでしょう。そして久世コーチと再び、全盛期の身体づくりから始めてリレーの代表選手に。レースではアンカーとしての役目を果たせるよう、「冷静に、冷静に」と自分に言い聞かせながら、泳ぐ間も「メダルに届いてくれ！」と祈るような気持ちでした。あとはテレビ中継で解説された



水泳部の高橋繁浩監督（スポーツ科学部長）のおかげでしょう（笑）。学部を卒業して十年。久しぶりに母校の雰囲気を感じたい、オリンピックで結果を出したい、という当時のがむしゃらな感じが憶い出されました。二年次に挑んだアテネ大会の悔しさをきっかけに、大学の専門的な学びを積極的にトレーニングに取り入れ、周りの力も借りながら成長することができた。そんな大学時代は、競技人生において有意義な期間だったと思います。引退した今はすっかりと、人生が二回分あるような気がしています。挑戦を怖れず、これで生きていくんだ、と思えるものを探していきたいですね。



写真提供:中日新聞社

写真提供:中日新聞社

寺本

明日香



写真提供:中日新聞社

体操女子キャプテンとして団体4位、個人総合8位入賞

体操女子競技の寺本明日香選手は、四年前のロンドン大会に続く二大会連続の出場。当時、チーム最年少で果たした五輪初出場から四年、二十歳になった寺本選手は今大会、体操女子チームのキャプテンを務めました。団体戦では、主将としての重圧と闘いつつ、三位・中国に二点弱



写真提供:中日新聞社

体操競技／体操個人、団体

スポーツ科学部3年

2011年、15歳で世界戦デビュー。翌年のロンドン五輪では、チーム内では最年少ながら個人総合で最高の11位に。

という僅差での四位入賞へチームを牽引。四強入りは、一九六八年メキシコ大会以来四十八年ぶりのことで、寺本選手の安定した演技が大きな原動力となりました。また個人戦では、手のマメを潰し、痛みに耐えながらも八位に入賞。こちらは競泳の松田選手同様、東京五輪以来という、日本のオリンピック史に名を残す活躍ぶりでした。四年後の東京五輪では二十四歳。今後の活躍がまた楽しみです。

女子ラグビー、陸上、競泳、世界の大会で開花した真剣味

リオ五輪から正式種目となった七人制ラグビーに、「サクラセブンス」の愛称で親しまれる女子ラグビーチームの一員として、本学卒業生で陸上競技部出身の桑井亜乃選手が五輪に初出場。また競泳・長谷川純矢選手が、背泳ぎ種目でオリンピックの大舞台に初めて臨みました。ともにメダルの夢は散りましたが、東京五輪に向けて克服すべき課題を掴んだようです。

走る、投げる、跳ぶ…十種目の競技すべてにおいて高得点が求められる十種競技には、中村明彦選手がエントリー。ほか陸上競技では山本聖途選手が棒高跳び、田村朋也選手が四×四〇〇mリレーに果敢に挑みましたが、オリンピックの魔物でしょうか。本領発揮ならず。しかしこの悔しさをバネに、四年後、さらに成長した姿を見せてくれるはず。

かけがえのない経験を、2020東京五輪へつなげる一歩に!

選手名	種目	結果
桑井 亜乃 2011年度体育学部卒	女子ラグビー	予選リーグ3戦全敗、総合成績10位
	女子7人制ラグビー	
長谷川 純矢 2015年度スポーツ科学部卒	競泳	54秒17の記録で7位、準決勝進出ならず
	100m背泳ぎ	
中村 明彦 2012年度体育学部卒	陸上競技	投てき種目などで苦戦、7612点で22位
	十種競技	
山本 聖途 2013年度体育学部卒	陸上競技	5m45を3度連続ミス、記録なし
	棒高跳び	
田村 朋也 2014年度スポーツ科学部卒	陸上競技	3分2秒95で13位、決勝進出ならず
	4×400mリレー	



トリコロールカラーのスティックバルーンを打ち鳴らす大応援団。

学生、教職員が心を一つに寺本選手にエール

中京大学では、世界の大会で活躍する本学アスリートに全学一丸となって応援する、「パブリックビューイング」を行っています。

リオ五輪では、体操女子個人総合のテレビ中継に合わせて豊田キャンパスで開催。寺本選手が所属する体操競技部をはじめ、硬式野球部、水泳部、ラグビー部などの学生のほか、梅村清英梅村学園総長・理事長、安村仁志中京大学学長ら教職員も駆けつけ声援を送りました。アスリートの応援を通して、ともに感動を分かち合い、やがて社会へ出て心を支えとなる、母校の絆、チームワークを育みます。

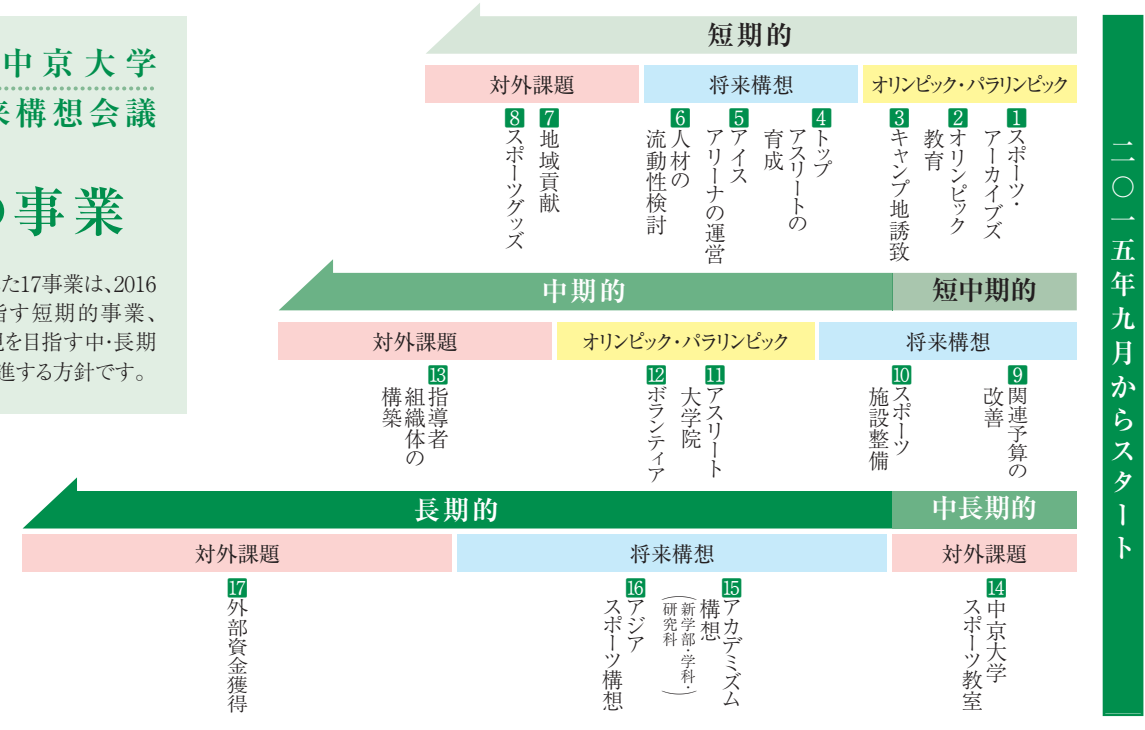
〈学術とスポーツの融合〉梅村学園・中京大学 スポーツ将来構想会議のご紹介

「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を建学の精神に、すでに延べ110人の選手をオリンピック・パラリンピックに送り出してきた中京大学。2020年の東京大会開催も決まり、これを機に、スポーツ分野における課題解決のための「梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議」を設置。すでに全学的な取り組みが始まっています。

梅村学園・中京大学
スポーツ将来構想会議

17の事業

2015年9月にスタートした17事業は、2016年度内の実現を目指す短期的事業、2020年度までの実現を目指す中・長期的事業と段階的に推進する方針です。



二〇一五年九月からスタート

中京大学は、一九五四(昭和二十九)年に商科単独の短期大学として開学しました。同年、陸上競技部や準硬式野球部が東海大会で優勝を飾るなど、「文武不岐」の精神はただちに発揮され、一九五九年、中部地方初となる「体育学部」を開設しています。その翌年開催された「第一七回ローマオリンピック大会」には、本学初の日本代表選手を送り出しましたが、現在までに本学関係者の大会出場者、いわゆる「オリンピックアン」は二〇名に達しようとしています。

また一九七四年には、時代に先駆けて「大学院体育学研究科」を設置。その博士後期課程を私大で初めて(全国では二番目)開設したのも本学であり、これまで多くの体育学・スポーツ学の権威や指導者を社会へ輩出しています。

今や十一学部を擁する総合大学として発展した中京大学ですが、そうしたスポーツ分野における蓄積もまた、本学のアイデンティティを支え、進化の原動力となった大きな柱といえるでしょう。

そうした背景を持つ本学において、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックにどう関わっていくべきか。また総合大学でありながら、代表選手が数多く輩出される大学として、各学部出身のアスリートたちをどう支援していくのか。そして何より、スポーツ分野における本学の立ち位置、未来像をどう練っていくべきか、など。

本学の母体である梅村学園が創立一〇〇周年を迎える二〇二三年に向け、これらの課題を解決すべく、「梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議」(以下、

2020年度までの短期・中長期の将来構想がスタート! 今後の展開にご期待ください

略「スポーツ会議」が設置されることになったわけです。

二〇一五年一月には梅村清英総長・理事長(当時理事長)の諮問を受け、北川薫学事顧問(当時学長)を議長とする「第一回スポーツ会議」が開かれ、学園理事や教職員など全学的なメンバーが集結。十七の施策をまとめ、同年八月、理事会の正式承認後、学園大学のスポーツ全般にわたる将来構想が始動しました。

スポーツ会議の目的としては、「建学の精神に基づき、教育・研究・社会貢献を通じて、梅村学園・中京大学のスポーツの価値をさらに高め、「学術とスポーツの融合」を実現することです。

北川議長によれば、「スポーツとは経済学、情報工学、言語学…など、多様な学部の知恵と結びつけることのできる素材」であり、こうして全学的な組織で将来構想をまとめ上げることができたのは、総合大学である中京大学ならではの、総合大学である中京大学ならではの、このこと。これまでに在学生アスリートが活躍することで、大学の知名度が上がるなど、間接的にスポーツの価値を感じてきた学生や卒業生も少なくなかったでしょうが、今後、事業を通じて学術とスポーツが融合すれば、本学での学びはより深く、豊かなものになるはず。

さて現在、その事業は実行段階へと移り、北川議長を長とする実行委員会(北本暢学園専務理事・種田行男副学長・大森達也学長補佐・鏡味徹也財務局長・松尾貴光企画局長・鷲見勝博国際教養学部教授・高橋繁浩スポーツ科学部長・来田享子スポーツ科学部教授)が主となり、着々と進行中です。

スポーツやビジネス、教職員関連ばかりでなく、母校発の才能は、アートの世界でも大きく開花しています。むしろ美術系大学にはない、おおらかで自由闊達な空気が、芸術的なセンスや感度を培ったのかもしれない。

活躍する同窓生

キャンパスが生んだ美の表現者たち

東 直樹さん

1970年度 文学部心理学科卒

在学中は美術部に在籍。1971年に春陽会48回展新人賞を受賞。79年に最年少で春陽会会員。80年ホアン・ミロ国際デッサンドローイングコンクール入選、81年アメリカ国際展入選、87年安井賞入選、92年安田火災美術財団奨励賞、94年春陽会第71回展中川賞、95年7回石田財団芸術奨励賞、13ベストセレクション美術2013など多数。大阪府出身。



「歳を重ね、初めて生きる喜びを表現するようになった」とその色彩は躍動感を増した。現在、名古屋キャンパス(2号館)には、岡岡氏と東さんを含む学生らが共同制作した壁画が残っている。



「細胞と同じように、日々、生まれ変わるのが人間であり、作品も同じ。色彩も表現手法もどんどん変化しています」と東さん。現在、130号の大作からプロンズの小作品まで、手掛ける作品は幅広い。

絵を描き始めたのは三歳前。その頃はお化けの世界があるような気がして、暗闇が怖くて仕方なかった。それで絵の中に閉じ込めるように、闇に潜んでいるものを描くようになりました。一つひとつ標本みたいに捕らえてしまえば怖れずに済むであろうと。つまり臆病であったことが絵を描く原点だったというわけです。

僕の場合、元来描く対象物が在るわけではありません。目に見えるものには既成の意味があり、それを表現しようとする、どうしても限界がある。しかし見えないもの、感覚的に知覚するものであれば表現は無制限です。そんな思いで、精神の内からあふれ出るものを作品に映じてきましたけれど、若い頃の作品を見ますと非常に痛々しい。すでに絵を描くことと、生きることは自分の中で同じでし

描くことは生きること。魂の輝きを投影したい

たから、学生時代は教職課程を取りながら実習を放棄したり、卒業後も就職せず、逃げ道のない状況に自分を追い込んだ。ただ、そんな孤独な若者に仲間の必要性を覚えてくれたのが梅村清弘先生(名誉総長)であり、画家への登竜門となった春陽会の出岡実さんとの出会いも清弘先生がきっかけです。この出会いで当時、生意気だった僕は「傲慢さからは何も生まれない」と鼻柱を折られ、また芸術家としての意識の持ち方を教えていただくことができた。

新人賞受賞から四十六年。年間一〇〇点を目標に、終始一貫して「生と死」を作品づくりのテーマとしてきました。遠いはずの「死」への恐怖を感じていた若い時と逆転し、今は魂が発する光というか、いつか「生」の喜びを最大限表現できればと思っています。

革手工芸との出会いは一九八八年。父が他界し、落ち込む私に主人が勧めてくれたのがきっかけです。皮革工芸家の杉山タカ子先生に師事し、さまざまな表現手法を磨いていく中で、スケールの大きい絵画的な作品づくりにのめり込んでいきました。

額は1号サイズで葉書き一枚分。初入選を果たした作品は80号ですので、その大きさについては、ご想像いただけるかと思いますが。大変なのが作品をつくり上げるまでの工程で、下絵に合わせて皮革を切る・貼る・彫るなどしてレリーフ状に仕上げた後、染色を施しますが、革が破れたら最後、すべてからやり直し。部分的に補うことは可能でしょうけれど、それでは自分のイメージと違った作品になってしまいます。曲線の美しさを生かした作品づくり

ゼロからの挑戦。日展の工芸美術部門に初入選

が好きですが、よく切れる刃を使ってフリーハンドで一気に切り取りますので、これも一発勝負です。染色もミリ単位で試行錯誤を重ねていきますし、作品づくりは本当に苦勞の連続です。だからこそ夢がありますし、たまらない魅力を感じるのでしよう。

基本的に主婦業優先で、制作に集中するのは一日二時間(四時間。年間三、四作品を同時進行でつくり上げています。)

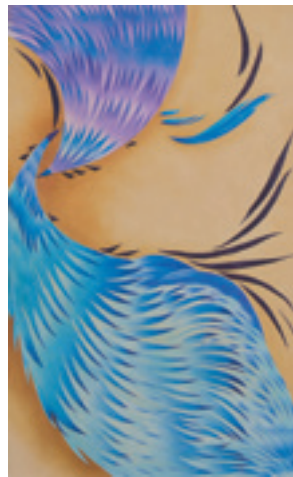
ここ二三年ほど、JA保見支店でも作品を入れ替わりご展示いただいています。が、応援してくださいの皆様が我がことのように今回の入選を喜んでいただいで、つくづく有難いことだと感謝しています。

一つの作品をつくり上げると、次はこうしようというアイデアが湧いてきます。これからも私の好きな革工芸の美を追求していきたいですね。

成瀬 清子さん

1979年度 文学部国文学科卒

豊田レザーアート研究会会長・杉山タカ子(日展作家・会友)に師事し、平成3年、誠和染織教室にて杉山革手工芸支部教室師範研修修了証授与。現在、「豊田レザーアート研究会」会員。工芸美術作家で組織する団体「波光会」に所属、会員となり、日展への出展を始め、7年目の2016年、第4科・工芸美術(革)部門で初入選。



入選作「絆(きずな)」は、つがいの鳥に夫婦の絆を重ね合わせた作品。「活動が続けてこられたのは、主人の支えのおかげ。その感謝の気持ちを込めた作品で入選し、思返りできたことが何より嬉しい」と成瀬さん。



ご主人の幸夫さんは同じ国文学科の同級生。母校の話題になれば、まさしく阿吽の呼吸で会話が進む。「同窓会など夫婦一緒に出席できる楽しみがありますね」と仲睦まじい。

中京大学を卒業後、自分の選んだ道で生きていくと覚悟を決めて10年、20年、30年…。それぞれに今、多くのお客様を魅きつけてやまない理由は、経営者としてのバイタリティやお人柄、そして根底に流れる真剣味の精神でした。

同窓生のお店紹介

真剣味こそ、こだわりの原点



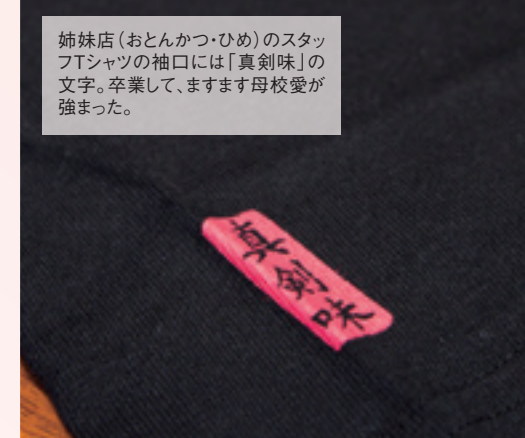
野趣あふれる「庭園風露天風呂」。自慢の温泉は、皮膚病や内臓疾患、リウマチなどに効くと評判。



収容人員107人、27の客室は和・洋2タイプ。大小宴会場、カラオケラウンジなど完備し、グループ客にも対応。



ミニ会席ランチ「道草」1,930円(税別)。先付け、お造り、焼物、煮物など、日本料理の醍醐味をしっかり堪能できる。同窓生にはジェラートを特別サービス。



姉妹店(おとんかつ・ひめ)のスタッフTシャツの袖口には「真剣味」の文字。卒業して、ますます母校愛が強まった。

由緒ある、いで湯の里で
リラクセス

〔宿泊施設〕
平湯プリンスホテル

古くからある旅館の長男で跡を継ぎました。常にお客様の立場で、お客様が求めるサービスを心がけてきましたが、やはりご満足いただくことがいちばん嬉しいですね。

ここ奥飛騨温泉郷の中で最も古く、湯量も多い平湯温泉にあって、源泉かけ流しのお風呂を二十四時間、いつでもお楽しみいただけるのが当ホテルの特長です。庭園風露天風呂に檜の大浴場、三種類の貸切露天風呂と、それぞれ趣の異なるお風呂めぐりもまた一興。戦国時代、武田氏家臣・山県昌景の軍勢が鋭気を養ったとされる天下の名泉に浸かり、ゆったりとおくつろぎ下さい。

学生時代はスキー競技部に所属していましたが、教職についた仲間も多く、スキー合宿や大会の時など、ホテルを利用していただいています。同窓生の皆様もご宿泊はお値打ちにさせていただきます。こちらにおいての際はぜひお寄り下さい。



1974年度
商学部経営学科卒
内方 文男さん
代表取締役

Shop Data
岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯128-6
【TEL】0578-89-2323代
【アクセス】JR「高山」駅・「松本」駅
【駐車場】約50台

心豊かな和みの食空間

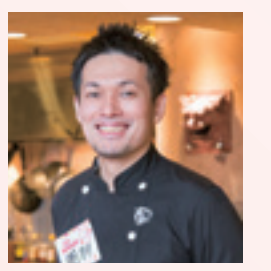
〔飲食店〕
旨いもの台所 南風

市場から直輸入する食材を使った沖繩料理、薪窯で焼くピッツアに鉄板焼き…メニューは日々のオススメも合わせてざっと一五〇種類あります。どの店舗もオーブンキッチンスタイルで、目でもお楽しみいただけると思います。

僕自身は大学卒業後、サラリーマン等も経験しましたが充実感を味わえず、学生時代にアルバイトをしていた南風に正社員として復帰。入社から五年間は会社の成長期であり、次々と出店。その後は売上不振店に行き、店長として立て直すことが僕の仕事でした。代表取締役役に抜擢されたのは、今年一月です。アルバイト出身だからこそできる会社創りが必ずある

2002年度
法学部法律学科卒
毛利 祐紀さん
南風(直営7店舗)代表取締役社長

Shop Data
名古屋市北区中丸町1-4-4
【TEL】052-910-3654(南風本店)
【営業時間】17:00~24:00
【定休日】不定休
【アクセス】地下鉄鶴舞線「庄内通駅」徒歩13分
【URL】www.nanpu.co.jp



と信じ、お客様、働くスタッフやその家族、近所の皆様に愛される店を作りたいです。大学で学んだ「真剣味」を胸に、情熱を持って関わる全ての人にとっていい会社を目指し、取り組んでいきます。

本掲載号ご持参の方は
飲食代金より**20%OFF**
(但し、割引上限3000円/期限なし)
直営7店舗(本店、庄内通店、栄北店、丸の内堀川店、名古屋駅前店、芥見店、多治見店)で有効

日本料理の技と心意気を堪能
日本料理 あたご

日本料理というと、敷居を高く感じる方も多かもしれませんが、さすが和食は誇るべき日本文化の一つ。たとえば煮くずれを防ぐための面取りも、職人に言わせればただの「逃げ」。手間を惜しまない丁寧な仕事をすれば素材はくずれません。そうしたセオリーに忠実な日本料理の真髄を、より多くの方に伝えたいですし、奥多度の豊かな自然の中、旬の美味しいものをぜひゆつくり堪能いただきたいですね。父が急逝し、昭和二十七年創業の老舗を継ぐこととなりました。学生時代、柔道に情熱を注いできた自分が後継者になるとは思いもせませんでした。魂を削るように一組一組、ただ全力でおもてなし



1999年度
体育学部武道学科卒
石川 力さん
代表取締役

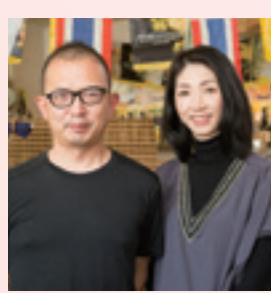
Shop Data
三重県桑名市多度町古野517
【TEL】0594-48-2211
【営業時間】11:00~14:30(ラストオーダー14:00)
17:00~ラスト(完全予約制)
【定休日】水曜
【アクセス】東建多度カントリーから車で3分
※ランチタイムもお気軽にご予約を

本掲載号ご持参の方は
飲食代金より**20%OFF**
(但し、割引上限50,000円/2017年9月30日まで有効)

シテアして賑やかに楽しみたい
タイ料理 バーツ

甘い、辛い、酸っぱいと三つの味のバランスを楽しむのがタイ料理の特長。そのうち辛味は、本来、旨みを引き出すためのものであり、日本人の舌に合わせつつ、オリジナリティある辛さにこだわっています。ただ苦手な方も多いパクチーについては一切使わず、逆に、お好きな方には自家栽培のものを自由にトッピングいただいています。

中、高校と同級生の主人が脱サラをして始めたお店で、私自身は、自分のやりたいことを貫く人を応援したい性格。それでも時折、サービス精神旺盛な店主にハラハラさせられますが(笑)オープンして十三年。クセになるという常連さんも多く、また、学生時代の仲間も足



1990年度
文学部英文学科卒
土井 幸枝さん
(旧姓 中村)
ご主人 勝仁さん

Shop Data
東海市中央町5-21 スタジオ21A
【TEL】052-604-3699(要予約)
【営業時間】11:00~14:00(土日11:30~)
18:00~22:00(ラストオーダー21:30)
【定休日】火曜
【アクセス】名鉄常滑線「太田川」から車で5分

本掲載号ご持参の方は
飲食代金より**5%OFF**
(但し、ディナータイムのみ/2017年9月30日まで有効)



イタリア直輸入という、ピッツア窯の内部は350~500℃。火加減を見ながら、絶妙な焼き具合に仕上げる。



手前「あぐー豚と白ネギの塩ピッツア」(1280円) 奥「ゴーヤチャンプル」(750円)



人気のタイ風焼きそば「パッタイ」を組み合わせたランチは980円。前菜アラカルト、プチデザートにドリンク付とリースナブル。



気軽に入りやすい、アットホームな雰囲気。日曜は、小学生以下のお子様連れの場合、17時~入店可。



懐かしい母校の大学祭を卒業生にも開放し、名古屋・豊田の両キャンパスを訪れてもらおうと始まった「ホームカミングデー」。今年で19回目となり、毎年、声をかけあって参加する同窓生も少なくありません。さわやかな秋の好天に恵まれた今回は、約1,800名の参加者を集める盛大なイベントとなりました。

参加した同窓生の声

同級生との
つながりが
私の大切な宝物

写真中央/
奥村 陸三さん
(1965年度 商学部卒)



ホームカミングデーはよく参加していて、孫を連れてくるのが毎年の恒例行事ですね。今日は図書館での展示を楽しみにして来ました。私が学生の頃は2学部しかなかったの、総合大学として大きく成長していく姿にはいつも驚かされます。同級生とは、スキー部のOB会を通じて今でも頻繁に会っています。かけがえのない友人がで、その関係がずっと続いていくのが中京大学の良さだと思いますね。



雲 一つない晴天に恵まれた豊田キャンパス。早朝は冬の到来を予感させる肌寒い陽気でしたが、学生たちの熱気を受けて徐々に気温も上昇、絶好

第19回

2016.11.5(土) ホームカミングデー

Home Coming Day!



第

六十三回を迎えた二〇一六年の中京大学祭は「星(ほし)」をテーマに、十一月四日(金)・五日(土)・六日(日)の三日間にわたって、盛大に催されました。ホームカミングデー当日となった五日(土)は、大学祭実行委員会のユニフォームである

真っ青なパーカーのように晴れ渡る秋空。絶好のお出かけ日和に恵まれたこともあり、学生はもちろん、同窓生や地域の方々など老若男女でにぎわいました。ガレリアステージではダンスや演奏、恒例のミス中京コンテストに大勢の観客が集まり、セントラルプラザにあるから揚げや焼きそばなどの屋台も大人気。軽食だけでなく、ゼミや部活の成果を発表するブースも見応え十分です。家族連れが多く見られた一号館の子ども向け



Toyota campus 豊田キャンパス



の大学祭日和となり、大いに盛り上がりを見せました。第二十三回を迎えた今年の「とよた祭」のテーマは、明るい笑顔の絶えない大学祭にしたいとの思いから「明」に。二つのステージでは、大食い選手権やライブなどが開催されたほか、一号館の周辺にはたこ焼き、から揚げなどの模擬店が連なり、おいしそうに料理を頬張る姿があらわこちらで見られました。

スポーツ施設をバスで巡るツアーや学内の見学も催され、特にアイスアリーナの見学は、整理券を求める長蛇の列ができるほどの盛況ぶりでした。また、図書館では、中京大学スポーツ・ミュージアムのプレオープン展示企画として、リオ五輪の参加記念メダルなどが飾られ、多くの来場者が興味深げに見入っていました。



参加した同窓生の声

充実した学生
時代を思い出し、
気分一新!

写真左/大野 功貴さん
(2015年度 スポーツ科学部卒)

写真右/上野 僚大さん
(2011年度 現代社会学部卒)



大野さんの就職内定後に、大学OBである会社の先輩として会ったのをきっかけに、お互い初めてホームカミングデーに参加しました。二人とも学生時代は部活やキャリアアドバイザーの活動に励んでいたため、大学祭にもほぼ初参加です(笑)。元気な後輩たちの姿を見て、自分たちの充実していた日々を思い出すことができました。今日、参加したことで、気持ちを新たに仕事にも向き合えそうです。

Nagoya campus 名古屋キャンパス



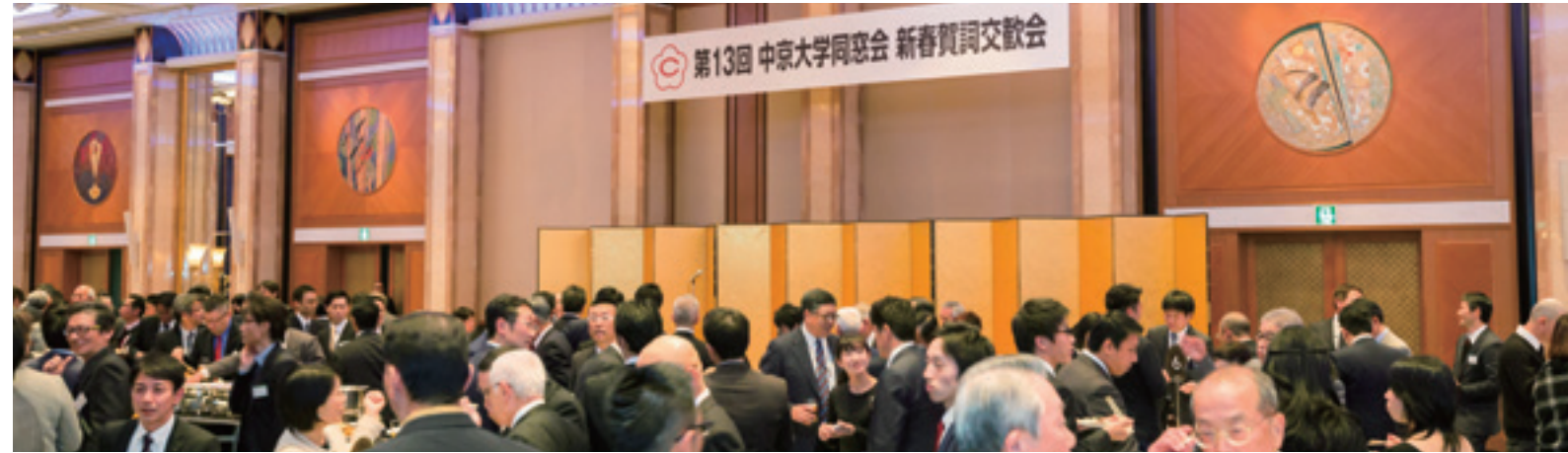
企画、体育館のスポーツ企画など、朝から晩までキャンパスのあちこちから元気な笑い声や歓声が響いた大学祭でした。



新春賀詞交歓会

[2016年度]
第13回

立春も近づく2017年1月28日(土)、13回目となる「中京大学同窓会新春賀詞交歓会」がヒルトン名古屋において開催されました。穏やかな陽気に恵まれたこの日、梅のつぼみが開花するように、交流の輪が会場のあちこちで広がりました。



第二部 新春賀詞交歓会

同窓の活躍、母校の 飛躍に胸を躍らせて

第一部新春賀詞交歓会の冒頭、リオ五輪報告として、講演を終えた松田丈志さん、パリオリンピック陸上競技四〇〇メートルリレーで銅メダルを獲得した佐藤圭太さん(13年度体育学部卒)、また大晦日に二階級制覇を達成し、プロボクシングWB O世界ライトフライ級チャンピオンとなった田中恒成さん(経済学部三年)がご登壇。梅村清英総長・理事長、安村仁志学長より花束が贈られ、松田さん、佐藤さんが謝意を述べら



れました。「まだ卒業していないのに、三度目の賀詞交歓会です」と会場を沸かせたのは田中さん。「次は三階級、四階級と各階級を制覇す

るだけでなく、海外でも活躍したい」との挨拶に大歓声が起きました。

そして所用のため、出席できなかった森谷敏夫同窓会長に代わって、種田行男副会長(中京大学副学長)がご挨拶。「一九五八年、開学から五十年目に誕生した同窓会も約十二万六〇〇〇名、全国に七十三支部、海外五支部という組織となり、年間約五十回の活動が展開されている」と日頃の同窓会活動をご紹介します。九月には東京で初の名刺交歓会も開催予定で、「社会で活躍する同窓生のネットワーク



新春賀詞交歓会とは

卒業生のネットワークづくりや異業種交流の場となるよう、2005年度よりスタートした「新春賀詞交歓会(旧「名刺交換会」)。すでに数えること13回。今年も第一部「講演会」(約1時間)・第二部「新春賀詞交歓会」(約2時間)と2部形式で行われ、大学、同窓会、教育後援会から多数関係者の皆様、そしてOBOG473名が集いました。初対面でも気兼ねなくコミュニ

ケーションを取りやすいよう、賀詞交歓会の席は業界ごとに分けられ、さらに卒業年度や出身学科、勤務先を明記し、業界別に色分けされたネームプレートを配布。業種やキャリア、世代など、さまざまな違いを超えて、参加者の誰もが臆することなく交流できる工夫がなされています。母校の絆を活かし、仕事や日常を充実させる有益な場として、どうぞお気軽にご参加ください。

名札業界分類

名札色	業界
A	食品・飲食・衣料・総合店舗・専門店等
B	自動車・電力・燃料・部品・機器・資材・物流・運輸等
C	建設・住宅・不動産・公共工事・ビル・設備等
D	金融等
E	医療・医薬・福祉・衛生・理美容・健康等
F	旅行・宿・レジャー・美術館・スポーツ等
G	マスコミ・芸能・芸術・印刷・広告・デザイン等
H	情報・通信・IT・システム・コンピュータ等
I	総合商社・コンサルタント・専門職・派遣業等
J	教育・公共・公務員・各種連盟等
K	その他



また安村学長は、中京大学学歌にある「渺瀾(びょうらん)たる四海の幸福と同胞の文化を高めん(中略)暴風雨を越えて進まん」のフレーズを引用。かつて大海原に漕ぎだした偉人のように、「帆を上げ、挑戦の海原へ漕ぎだそう」と呼びかけ、「予測困難な今の時代こそ、本学で培われたタフでユニークな精神が生かされる」と同窓生を鼓舞しました。

「幾多の改革を経て、今や中京大学は理系、文系がバランスよく揃った熟成した大学になった。同窓生の皆さんも挑戦を怖れず、新しい出会い、新しいチャレンジのきっかけになるようなものを本日は見つけていただきたい」と瀧 剛志同窓会副会長(中京大学工学部教授)より乾杯のご発声をいただき、いよいよ賀詞交歓会のスタートです。

会場は自由に飲んだり食べたりできるピュッフェ形式。早速、懐かしいメンバーが集まってグラスを傾けるグループ、何はともあれ、しつかりと腹ごしらえして名刺交換に臨もうという方、スタイルもさまざまです。昨年よりも女性の参加者が

「後輩を受け入れる懐はどこまでも深く、温かく」



多い今回、とくに初々しさを漂わせていたのが、新卒一年目というお二人。「ふだん異業種の方との接点がないので、今日は社会人の先輩としてもアドバイスをいただけたらと思います、思いきって参加しました」というのは小松沙織さん(15年度言語表現学科卒)。また「営業職なので、新しい出会いを通して自分の幅や人脈を広げたい」とおっしゃるのは二村晶子さん(15年度国際教養学科卒)。仲良く会話も弾んでいたため、お二人誘い合わせての参加と思いきや、会場に来て出合い、すっかり意気投合。「学生時代に接点はありませんでしたが、おかげで学部を超えた良い出会いの場になりました」とにっこり。

名刺を箱ごと持参されていたのは、地方公務員の白木昌巨さん(89年度体育学科卒)。「五十歳になる節目もあって今回、初めて参加してみました。懐かしい顔ぶれにも会えましたが、何よりあまりの盛況ぶりに驚きました。豊田キャンパスへは、ホームカミングデーを利用して家族を連れて何度も訪れています。お父さんの母校だよ、と子どもたちに自慢できるのは嬉しいことですね」と

第一部

記念講演会

「講師」松田 丈志さん
2006年度体育学部体育学科卒2008年度体育学修士修了
2016年リオ五輪水泳日本代表(銅メダル)
久世 由美子さん
2016年リオ五輪水泳日本代表バトンナルコーチ
2003~2007年 中京大学水泳部コーチ
「テーマ」「夢を夢で終わらせない競泳人生」



第一部講演会では、松田さん、そして四歳から二十八年間、彼を指導してきた久世さんが登場。二人三脚で歩んだオリンピック四大大会への取り組みやメダルへの想いなど、交互に語られました。故郷・宮崎のスイミングクラブで「強くなりたい」という松田少年に、久世さんは挨拶などの礼儀を徹底。また「小さな夢を掲げ、一つひとつ達成していく喜びを重ねていった」そうです。やがて中京大学へ進学した松田さんとともに、久世さんも本学コーチに就任。二年次にアテネ五輪への出場を果たしますが、メダルラッシュの競泳陣にあつて、四〇〇メートル自由形八位入賞、二〇〇メートルバタフライ準決勝敗退という結果がもたらしたのは、悔しさでしかなく、それが「競泳人生の肝になった」という松田さん。自分に足りないものは何か。自問する中で「競技者を支えるスタッフや応援してくれる仲間、周りの力を借りることで、自分の努力も加速するのだと気づいた」そうです。その後、北京、ロンドン、リオと三大会連続で四つ(銀一、銅三)のメダルを獲得する活躍ぶりは周知の通り。「目標を持ち、実行し、成果を出す」その積み重ねの先に夢が実現するのだと勇気をいただきました。

新春賀詞交歓会に参加して



学生時代に会った友人のおかげで今があると思っています。

株式会社 不動産SOS

細川 勝矢さん

1997年度
情報科学部情報科学科卒

良き友、良き出会いをもたらししてくれる母校に感謝！
いつも著名人が登場する記念講演会は私には良い体験であり、また懐かしい友人と再会できることも嬉しく、毎年参加しています。職種でテーブルが分かれており、人見知りの私でも話しやすく助かっています。参加していただければ、とても知り合えないような方との出会いがあり、異なる世代の卒業生と話せるのは有難いことです。いつまでも継続して催していただきたいイベントだと思います。



フランクに楽しめる場ですので、多くの方に参加して欲しいですね。

株式会社 新規開拓

志賀 杏理さん

2000年度
社会学部社会学科卒

自分にはない考え方や視野を広げるチャンス
今年で五回目の参加です。年の初めに大学での交流を広げることが、今では恒例となっています。「MOT会」という同窓生の交流会にも参加していますが、今日は四十名の方と名刺を交わしました。人生の先輩からお話を聴ける貴重な場であり、仕事にも人生にもプラスになると感じています。また仕事関係の方ともお会いしましたが、「あなたも中京大学？」と親近感がわきました。



初対面でも近い距離で話せることが、賀詞交歓会の魅力ですね。

名鉄観光サービス株式会社

堀越 健作さん

2004年度
経済学部経済学科卒

挑み続ける母校とともに、自分も成長していきたい
この交歓会をきっかけに、具体的な仕事に結びついた経験もあり、毎年参加させていきたいと思います。会社経営者や学校の先生方など、普段お会いできない業種の方とも交流でき、見聞を広めることができました。また、卒業生として母校の現況や未来の展望などを知る良い機会となりました。と思います。



大学でできたつながりは、私にとってかけがえないものです。

公益財団法人
名古屋教育スポーツ協会

大石 恵梨さん

2014年度
スポーツ科学部スポーツ科学科卒

いちばん充実した四年間を思い出すきっかけに
初参加でしたが、なかなかムードに緊張もすぐほぐれました。私の勤務先で開催される競技会への期待の声も多く、頑張ろうという気持ちになりました。また記念講演を聴き、私自身、水泳部に所属し、人生でいちばん苦しかったことも、いちばん嬉しかったことも詰まった四年間を思い出しました。そんな学生時代こそ私の誇りであり、いつまでも誇らしい母校であって欲しいと思っています。



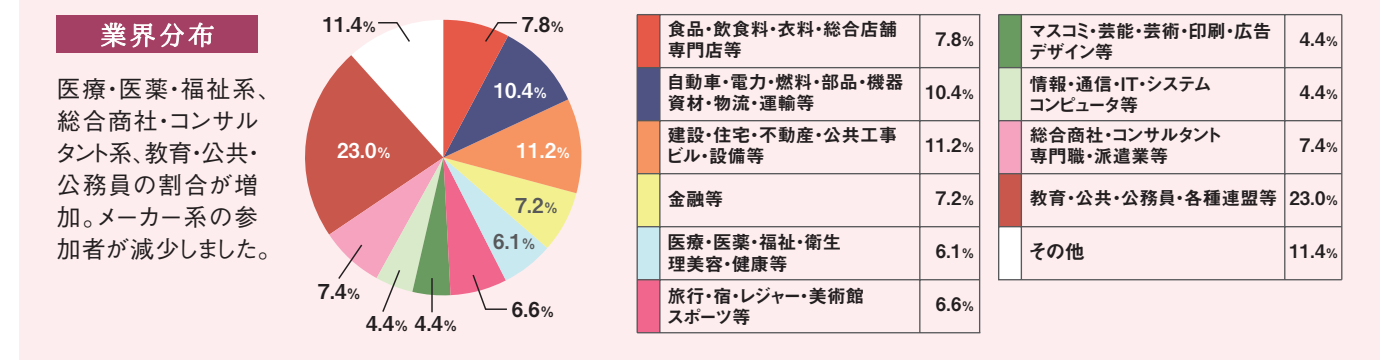
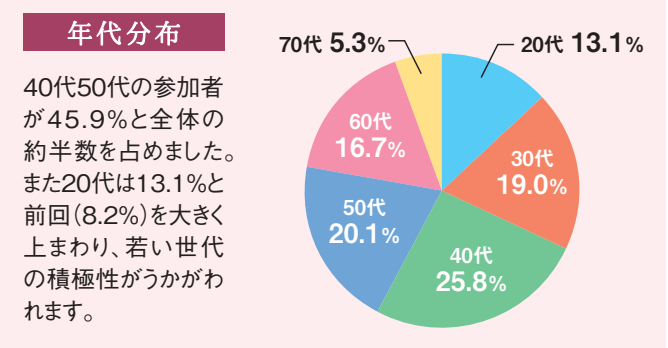
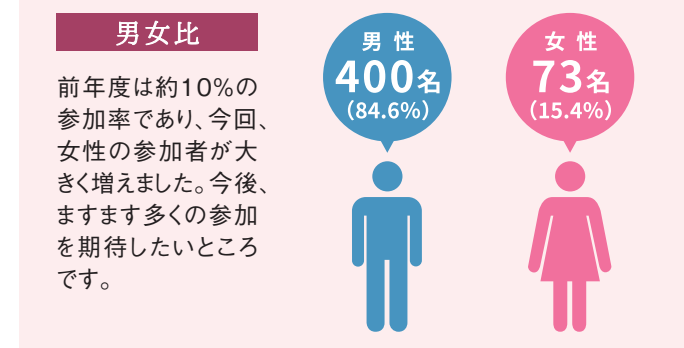
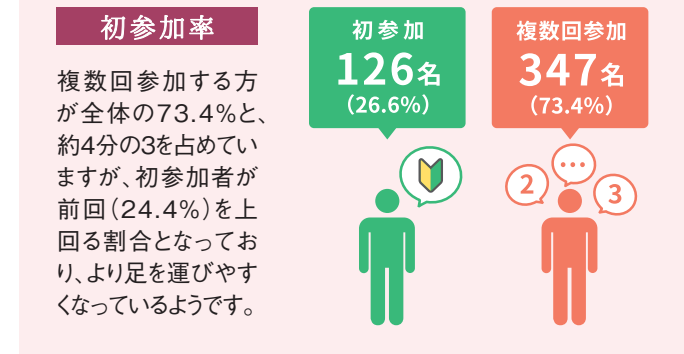
喜びの声も頂戴しました。さて熱気に溢れる会場内ですが、それもそのはず。松田さん、佐藤さん、田中さんと、三名のトップアスリートの前には、握手や写真撮影を求める長蛇の列がずらり。
そしてその列に並んでいたのは、1丁関連にお勤めの神谷和城さん(90年度社会学科卒)。「母校に素晴らしいオリンピックアスリートが大勢いることを知り、今日は誇らしい気持ちになりました。仕事仲間にも同窓生も多いので、次回は皆を誘って参加したいと思います」とのことです。
世代を超えた交流を楽しんでいたのは、会社経営の門田巧さん(69年度経営学科卒)。「地元の高校が春のセンバツ出場を決め、今日は情報収集を兼ねて



参加。若い方には敬遠されるかと思いましたが、数えきれないくらい名刺をいただきました。明朗快活な若者が増えましたね。頼もしい限りです。ぜひ孫も進学させたいですね」と頼を緩ませ語ってくださいました。またたく間に二時間が過ぎ、大西博視本部長が登壇して学歌斉唱へ。それまでざわついていた場内が一旦、静まり、いつしか皆で肩を組み、円陣を幾重も作って声高らかに学歌をうたい始めました。
閉会の辞を森田大延同窓会副会長が務め、会場の随所で名残を惜しむ声が聞かれる中、宴は幕を閉じました。
次は東京に会場を移しての「第一回名刺交歓会」です。皆様、お誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

2016年度 新春賀詞交歓会参加者プロフィール

愛知・岐阜・三重・静岡と東海地方在住の同窓生を中心に、総勢473名が参加。今回は富山、千葉、兵庫、熊本県など遠方から駆けつけた同窓生も見られました。



第1回「中京大学同窓会名刺交歓会“東京会場”」開催のご案内

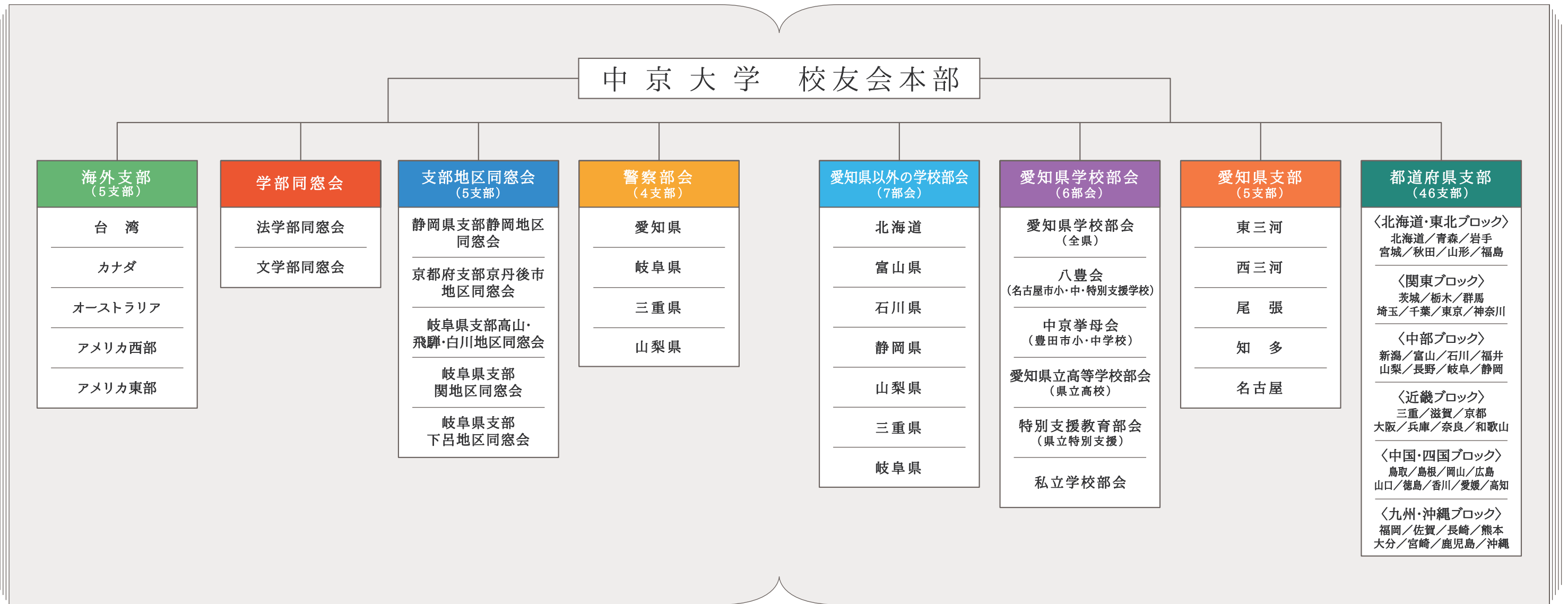
2017年9月16日(土) (受付14:30~) 記念講演会 / 15:00~(1時間) 名刺交歓会 / 16:00~(2時間) パーティー形式

- 会場** 京急EXイン品川駅前内(TKPカーデンシティ品川) 品川駅「高輪口」より徒歩3分
住所 / 〒108-0074 東京都港区高輪3-13-3 (シナガワグース内)
電話 / 03-6743-3910
- 参加費** 3,000円(当日、受付でお支払いください)
- 参加申込** 詳細は7月ごろお送りする案内をご覧ください。
- 問い合わせ先** 中京大学 校友会本部 電話 / 052-835-7140

開学から60余年を経て、いまや12万人を超える大きな組織となった中京大学同窓会。昭和33(1958)年、全国の大学に先駆けて発足され、都道府県ごとに支部を立ち上げ、同窓の絆を広げながら、支部地区同窓会や学校部会など、組織の拡充を図っていきました。近年では学部同窓会やあらたな職域同窓会も誕生し、ますます精力的な活動を展開中です。



中京大学同窓会



<p>知多支部長</p> <p>宮下 幸吉 1981年度 体育学部 常滑市 090-7854-6659</p>	<p>愛知県支部長</p>	<p>顧問</p> <p>今井 宏司 1961年度 体育学部 岡崎市</p>	<p>副会長</p> <p>瀧 剛志 1993年度 情報科学科 1998年度 情報科学研究科 みよし市</p>	<p>副会長</p> <p>鈴木 揚一 1977年度 体育学部 1982年度 体育学研究科 豊田市</p>	<p>副会長</p> <p>竹尾 悟 1969年度 文学部 小牧市</p>	<p>役員紹介</p> <p>会長・副会長・顧問</p>
<p>東三河支部長</p> <p>小栗 俊朗 1979年度 体育学部 豊橋市 0532-47-9064</p>	<p>名古屋支部長</p> <p>安江 明康 1978年度 体育学部 春日井市 0568-85-2584</p>	<p>顧問</p> <p>土方 清 1968年度 商学部 桑名市</p>	<p>副会長</p> <p>森田 大延 1997年度 経営学部 名古屋市</p>	<p>副会長</p> <p>種田 行男 1983年度 体育学研究科 常滑市</p>	<p>副会長</p> <p>和田 政彦 1969年度 法学部 松阪市</p>	<p>森谷 敏夫 1972年度 体育学部 京都市 住所・連絡先: 校友会本部へご連絡ください</p>
<p>西三河支部長</p> <p>岡田 英樹 1984年度 体育学部 豊田市 0565-32-3838</p>	<p>尾張支部長</p> <p>石黒 可妻 1983年度 体育学部 江南市 0587-56-1884</p>	<p>顧問</p> <p>川岸 信一 1965年度 体育学部 尾張旭市</p>	<p>副会長</p> <p>寺尾 悟 1997年度 社会学部 岡崎市</p>	<p>副会長</p> <p>高橋 繁浩 1983年度 体育学部 1986年度 体育学研究科 みよし市</p>	<p>副会長</p> <p>相羽 由光 1972年度 商学部 1974年度 商学研究科 愛知郡</p>	



各支部からのたより

北は北海道から南は九州・沖縄まで、全国46支部のみならず、海外5支部と、世界的な規模で広がる中京大学同窓会のネットワーク。各支部では県支部長のリーダーシップのもと、会員間の親睦と交流を図りながら、母校および在学学生を支援するなど、独自の活動を展開しています。今年度は6名が新支部長に就任し、より活発な取り組みが期待される各支部の近況をご報告しましょう。

新宮崎県支部長



各支部から学ぶ

坂田 洋一郎 1974年度 体育学部 都城市 090-2718-9660

前支部長、事務局長から、「世代交代するから支部長を引き受けてくれ」と突然の打診があり、戸惑いながらも引き受けました。

2016年度現在、宮崎県支部の会員は288名、宛先不明者201名、宮崎の地に500名近い同窓生がいることに驚き、そのような組織の支部長を引き受けることに身の引き締まる思いです。大役が務まるか不安ではありますが、全力で取り組ん

で参りたいと思います。

各支部の取り組みを拝見しますと、それぞれに工夫され、独自の活動を展開されています。当支部も先輩支部長、会員が築いてこられた伝統を大切にしつつ、それらの取り組みを参考に、組織や活動内容等の改善・改革に力を注ぎたいと思います。気軽に参加できる支部を目指し、「誠心誠意」頑張りますので宜しくお願い致します。

新大分県支部長



新たな支部長として

森本 秀治 1971年度 体育学部 豊後大野市 0974-34-4302

石井支部長の後任として、平成28年度より大分県支部長を務めさせていただくことになりました。支部発足から長きにわたり、当支部の運営にご尽力いただきました石井前支部長に深く感謝申し上げますとともに、これまで築き上げられた基盤をより一層、強固にすべく、邁進してまいります。

大分県の会員数は多い方ではありませんが、一致団結し、母校中京大学の発展に寄与できる

よう努めてまいります。ぜひとも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

3年後の2020年には、「九州・沖縄地区支部長会」開催に伴い、「支部同窓会」も開催予定です。母校より多くの参加も期待できることから、前回開催時を超える盛況な会にしたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしております。

新岐阜県支部長



これからも「信義誠実が原則」

山田 良種 1969年度 商学部 各務原市 085-383-6166

7600名を超える岐阜県支部の伝統と歴史を考えますと、新支部長として責務の重さに身の引き締まる思いです。「信義・誠実の原則」を基に、巧詐に走らず、相応の拙誠を尽くして精一杯務めさせていただく所存です。

今後は母校発展のため、支部の存在を知らない卒業生にも、参画意識を高めていける支部づくりに努力したいと思っています。

関支部、高山支部、下呂支部や学校部会、警察部会、幾つかの新しい支部発足の気運もあり、支部活動の活性化へと繋がるものと思います。

昨年、県支部総会を7年ぶりに開催できました。ご臨席賜りました皆様、誠にありがとうございました。26年にわたりご尽力いただきました山脇前会長に感謝の意を表すと共に、会員の皆様にはお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新三重県支部長



同窓会活動は樹を育てるつもりで

西田 憲治 1969年度 法学部 津市 059-228-2388

「新しい支部長に」という要請に、私のような者が、と内心あわてふためきました。同時に居ずまいを正し、その任をまっとうしなければ、と自分自身に言い聞かせました。

卒業以来、事業に専念するのが精一杯で、同窓会活動に熱心ではありませんでした。支部長としての抱負など持ち合わせておりませんが、まずは会員の皆様との連携を密に、丈夫な幹をつくり、

その上で枝を張っていかうと考えています。立派な幹に幾多の枝、あのCMの樹がイメージです。

先輩方が張りめぐらせた根に、新しい芽を息吹かせ、想像し得る立派な樹を育てよう努力します。やがて大樹に育ったとき、同窓会組織も理想の形になっているのではないのでしょうか。そのためにも皆様のお力添えを是非お願い申し上げます。

新沖縄県支部長



同窓の誇り、共有と交流拡大を!

大城 良孝 1974年度 体育学部 渡嘉敷村 090-1947-5119

2017年1月より、沖縄県支部長を務めさせていただくことになりました。

先日、宮城前支部長代理として出席した「九州・沖縄地区支部長会」にて、校友会本部や各支部長から、同窓生が世界レベルで活躍されている状況を伺い、心の底から誇らしさがこみあげてきました。また場を同じくして、沖縄本島を中心に並ぶ小さな島々にまで、同窓のネットワークが広がりを、一人一

人の会員が広く各界で活躍されている状況を知り、大変驚きました。

現在、それは誇りへと変わり、同時に先輩方が築き上げてこられたたすきの重みに、身の引き締まる思いであります。今後は支部長として、より多くの会員の皆様に呼びかけて交流を深め、当支部のさらなる発展に尽力して参りたいと考えております。どうぞ皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

青森県支部長

県同窓会へ多数のご参加を

米内 正明 1972年度 体育学部 八戸市 090-3364-5021

一昨年の本県支部同窓会は、久しぶりの再会ということで新役員承認と懇親を深めました。その機運に乗じて、昨年5月21日(土)には上十三地区同窓会を開催いたしました。今年には県支部同窓会を開催する予定でおります。この機会に県内各地の同窓生と親交を深めたいと思いますので、多数のご参加を期待します。



北海道支部長

同窓生として絆を深めよう

矢藤 良雄 1969年度 体育学部 石狩市 090-3396-2010

「2017年度総会・懇親会」を7月22日(土)、札幌市内のホテルポールスター札幌で開催します。地区理事、事務局を中心に準備を進めますのでご意見を寄せ下さい。講演会、ゴルフコンペも開催予定です。遠方からの参加者には、旅費の一部補助制度もあります。懐かしい教授との再会も期待できます。ぜひご参加ください。



新兵庫県支部長



新時代に対応する支部の役割

井内 義延 1969年度 体育学部 姫路市 079-252-5185

第11次期兵庫県支部理事会・総会が、平成28年7月9日(土)に開催され、本部役員並びに中播磨地区の役員が決定しました。

さて藤田英明支部長の後任となり、5カ月が過ぎました。歴代の支部長様のようにスムーズに運営できるか不安はありますが、各地区長はじめ理事・顧問の皆様のご協力を得ながら、今後の方向性を検討し、校友会本部とも連携していきたいと存じます。まずは

組織力や各学部・団体との絆を強め、仲間意識の高揚と「思いやる心」を深めて山積する課題に取り組むたいと思います。また県内各地域の個性を活かした地域創世を目指し、全国同窓会の情報発信モデル基地としての役割を果たしていきたいものです。

同窓会のさらなる発展と会員の皆様のご活躍をお祈りし、今年も飛躍の年と念じて、組織力強化に邁進する覚悟です。

神奈川県 中京大学同窓生の活躍

支部長 諸石 晃 1982年度 体育学部 座間市 046-251-8887

新星として注目される中京大学の宇野昌磨選手が、幼い頃、スケートリンクで浅田真央選手に声をかけられフィギュアを始めたという話を聞き、めぐりあわせの不思議を感じました。

またリオ五輪でも中京大学同窓生の活躍を見て、大いに盛り上がる事ができました。縁を大切に、同窓会活動を大切にしたいと思います。



富山県 富山の空に響く 中京野球の快音

支部長 野田 智 1978年度 法学部 射水市 0766-56-2215

昨夏、魚津市で大学女子野球大会が開催され、中京大学は19回目の出場を果たしました。跡見学園女子、上智、武庫川女子と全国の強豪大学を次々と打ち負かし、準決勝で至学館大学に敗れましたが、「中京は女子野球も強い」とスタンドをうならせました。応援ご観戦くださった大勢の先輩諸氏に感謝申し上げます。



福井県 さらなる支部の発展を目指して

支部長 鈴木 広幸 1980年度 体育学部 永平寺町 090-2833-8090

「支部の創立は、全国でも一番古い」と、歴代の先輩方から伺ってきました。2018年に開催される「福井元気国体」と合わせ、「全国同窓会」を開催予定です。これを機に、歴史と伝統のある支部のさらなる発展のために精一杯努めていきたいと思っております。どうか会員の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



長野県 さらなる組織の充実

支部長 長谷川 浩一 1979年度 体育学部 上伊那郡 090-4606-2326

2001年に支部長を受け、今年で17年目を迎えます。支部の活性化を図ろうと思案しつつ、実現できていないのが現状です。部会の拡大など、今後活発に活動できるよう努力したいと考えています。なお、今年度より事務局長を置き、ホームページの立ち上げや情報発信等、充実させていきますので、ご協力を宜しくお願い致します。



滋賀県 次期開催の準備をスタート

支部長 奥村 源太郎 1964年度 体育学部 甲賀市 0748-88-4911

2019年度に大学と合同で開催される「滋賀支部総会・懇親会」に向けて役員会を行いました。次期開催に備え、若い卒業生への声掛けや学部、クラブ等の繋がりを中心に、組織の拡大、充実を図っていくことを役員全体で確認しました。1人でも多くの卒業生が集まり、同窓の絆を深めあえるよう準備したいと考えています。



東京都 支部同窓会、名刺交歓会開催に向けて

支部長 加藤 隆司 1982年度 体育学部 江戸川区 090-1735-5703

2017年11月11日に「関東支部会」「東京同窓会」を実施予定です。関東各県からの飛び入り参加も歓迎です。人脈を広げ、旧交を温める機会として下さい。また、9月16日には校友会本部主催で、「名刺交歓会(東京会場)〈仮称〉」の開催も予定しています。ビッグゲストの講演と懇親の機会を是非ご活用下さい。



新潟県 結束を強め、ともに母校の発展を

支部長 竹内 知宏 1979年度 体育学部 新潟市 025-281-8455

支部長会議の折、大学紹介のDVDを拝見し、ますます中京大が日本で誇れる大学へと発展し、頼もしく、また心強く感じました。

新潟県支部会も年々会員が増え、現在500人を超える大所帯となりました。会員の一層のまとまりを図りながら、大学を力強く後押しできるような会員皆様のご協力をお願いします。



石川県 学校部会から支部同窓会の発展へ

支部長 岩下 良 1969年度 体育学部 金沢市 076-298-3122

学校部会は28年度で12回を終え、会の運営は定着したものの、参加者数は50名程度と固定しており拡充に繋がっていません。今後は減少傾向にある新規採用者の増加、さらには一般会員への参加取り組みなど様々な観点から分析、工夫し、学校部会のさらなる充実と支部同窓会への発展に取り組んでいきたいと考えています。



山梨県 同窓会会員増強に向けて

支部長 山下 正人 1971年度 体育学部 中巨摩郡 055-275-3705

山梨県支部は、昭和61年に山梨県で開催された「かいじ国体」を機に発足しましたが、当時の会員は数える程度で名ばかりの組織でした。現在では学校部会や警察部会を立ち上げ、会員240余名と充実してきています。今後も校友会本部と連携を密にしながら、支部会員を発掘し、会員増強に努めたいと考えているところです。



静岡県 つなげたい、人と未来と静岡を

支部長 大村 一雄 1970年度 体育学部 静岡市 054-365-3050

支部長を務めて1年。まずは一人でも多くの仲間と集う機会を設けることを目標に、2016年8月、県内から545名が参加し懇親を深めました。今年度は体育学部だけでなく、商学部、法学部の卒業生にも声を掛け、一人でも多く参加できる環境づくりを行うなどを盛り上げていきますので、よろしくお願い致します。



宮城県 同窓会を毎年開催できるよう

支部長 千葉 道博 1972年度 体育学部 石巻市 0225-76-2047

あの震災から6年が過ぎ、何とか復興が進んでいます。皆様にご支援いただき、支部会員元気で頑張っております。今年度は「支部同窓会・懇親会」「東北・北海道支部長会」が開催されました。ムードを盛り上げ、支部同窓会を毎年行えるよう事務局も頑張っていますので、多数の同窓生の参加をお待ちしています。



山形県 支部同窓会に向けて

支部長 石川 宏 1976年度 体育学部 米沢市 0238-23-1982

「山形県支部同窓会」を2017年10月14日(土)に開催することになりました。日頃連絡を取り合うことなど、なかなかできませんが、これを機会に県内各地の同窓生と再会し、親交を深めたいと思います。同学年、同地区、同部活の同窓生と連絡を取り合いながら、一人でも多くの方が参加くださるようお願いいたします。



茨城県 梅村総長・理事長とともに

支部長 塚本 浩一 1983年度 体育学部 守谷市 0297-45-9796

平成28年11月12日(土)、関東支部総会が開催され、約50名の会員が出席。総会前には梅村清英総長・理事長による記念講演が行われ、水戸市長にもご出席いただき盛大な会となりました。また支部長率いる県立守谷高校女子剣道部が全国選抜大会第3位、秋田県での魁星旗大会で11年ぶり3回目の優勝に輝きました。



群馬県 群馬県支部の充実にご協力を!

支部長 三川 高 1970年度 体育学部 前橋市 027-221-3865

関東支部の会議を、一都六県(山梨県を除く)で持ちまわりにて実施しています。その際、7年に1度、同窓会を開催しています。群馬からスタートし、3回目が3年後にやります。県内在住者の把握と支部同窓会の充実を図りたいと考えておりますので、部活や同好会の先輩・後輩・同級生の情報等をお知らせください。



千葉県 母校の発展とともに、大きな組織へ

支部長 猿田 明 1972年度 体育学部 四街道市 043-422-0620

現在、千葉県には400名を超える卒業生がいます。母校が大きくなり、学生数が増えるにつれて千葉県にも若い卒業生が増えています。

さて2014年に支部同窓会を開催することができました。次回は2021年の秋になります。大学時代の思い出や近況など語り合い、楽しい時間を過ごしたいと思います。ぜひご参加下さい。



岩手県 希望郷いわて国体、無事終了!!

支部長 田村 雄孝 1969年度 体育学部 盛岡市 019-659-2445

おかげさまで、「希望郷いわて国体」も成功裏に終了致しました。盛岡での「全国同窓会」も盛会のうちに終えることができ、全国からご来県の同窓生、また地元の同窓生の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも同窓生の結束を深めて参りたいと思っておりますので、よろしくご指導願います。



秋田県 支部同窓会活性化のために!

支部長 佐々木 信吉 1969年度 体育学部 秋田市 018-834-4722

「支部同窓会」「北海道・東北地区支部長会」の開催を2018年10月に予定しています。前回は2011年。「その間、何を?」と問われると答えに詰まりますが、昨年、これまで県支部会にご参加いただけなかった会員に、県の集まりと他県の会員の紹介でお会いすることができ、前向きになっています。共に頑張りましょう。



福島県 支部組織の充実に向けて

支部長 山内 光樹 1975年度 体育学部 田村郡 0247-72-5670

大震災から6年、多くの同窓生が復興に向けて力強く歩んでいます。当副支部長の横山重さんは長年、高校野球の監督・部長を務め、退職後も母校田村高校野球部のバス運転手として球児を支えています。2016年には高野連「育成功労賞」も受賞されました。今後も組織充実に向け、絆を深めたいと考えています。



栃木県 同窓会を定期的に開催

支部長 渡辺 成美 1984年度 体育学部 小山市 0285-38-0705

支部長職を引き継いで7年目になります。就任時に支部同窓会を開催しましたが、それ以降開催できておりません。

2018年には関東地区支部長会とあわせて栃木県支部同窓会が開催されますので、それに向け、定期的に同窓会を開催していきたいと思っております。会員の皆様のご協力をお願いします。



埼玉県 各界で活躍する会員を紹介します

支部長 高木 英朗 1969年度 体育学部 北本市 048-542-8303

企業や教育界等、幅広い分野で多くの会員の皆様活躍されています。茂木 栄氏(68年体育卒)は、明治安田生命保険相互会社(名古屋中央支社)の参与職兼市場開発部長として長く活躍されました。現在は、地域活動やスポーツ推進活動に力を注いでおられます。皆様も近況などを是非お知らせ下さい。



愛媛県 支部長 夢を叶える努力はかならず実る!

2016年は日本拳法全国少年大会・団体戦(小学生部門)で初の団体戦全国制覇を達成するなど、今治拳友会に在籍する子ども達の努力する姿に感動を貰いました。2017年は「えひめ国体」開催年であり、全国同窓会も催されます。多くの母校選手が参加され、活躍される事を願い、皆様のご来県を心よりお待ちしております。



香川県 支部長 皆様、支部同窓会のお知らせです!

平成26年には会員の皆様のおかげをもちまして、中四国支部長会を兼ねた支部同窓会を盛会の内に閉会することができました。3年ぶりとなりますが、11月に「支部同窓会」を中讃地域(丸亀)にて開催することを計画しています。前回ご参加いただいた皆様を頼りに連絡致しますので、ご協力のほど何卒宜しくお願いします。



大阪府 支部長 支部同窓会を毎年恒例のイベントに

今年も「支部同窓会」を11月頃に開催予定です。校友会本部との連携を強化し、会員の皆様に参加いただけるよう盛り上げてまいります。再結成から5年が経過しましたが、支部同窓会は毎年の恒例行事にしたいと考えています。多数の参加をお願いするとともに、参加されたことのない皆様もぜひ一度、足をお運びください。



京都府 支部長 広げよう!京都の絆

一昨年、「京都府支部懇談会」を開催し、久しぶりに出会う仲間と楽しい時間を過ごしました。教育界では小中高大と活躍されておられる方々も多く、嬉しく思っております。今年度は京都単独の「支部懇談会」を夏に予定しています。多数のご参加をお願いします。同窓生が営むお店紹介もしたいと思っておりますので、ご一報下さい。



福岡県 支部長 教員採用試験の合格者を激励

昨年ミニ同窓会を開催し、その際、県教員採用試験合格者(5名)の祝賀・激励会を行いました。日頃の努力の成果であり、また同窓会活動を通して得た先輩方の経験談なども若干、影響したのではないかと考えています。10月には県全体の同窓会を開催予定であり、出席して良かったと思っただけで頂けると嬉しいです。



高知県 支部長 支部総会へ多数のご参加を

県支部長を引き継ぎ5年目となりました。「2017年度支部総会」は6月3日(土)、翌4日(日)には恒例の「梅村杯親睦ゴルフコンペ」を予定しています。改めて案内をお送りしますので、多数のご参加をお待ちしています。今後も支部活動を一層充実させていきたいと思っておりますので、ご支援ご協力を宜しくお願いします。



和歌山県 支部長 愛情・信頼・感謝

母校に常に愛情を持ち、会員相互の信頼関係をさらに深めること。また全てに対して感謝の心で行動し、社会貢献できる支部を形成すると共に、支部のますますの発展に寄与していく所存です。なお昨年11月19日の役員会にて、近畿支部長会議の内容報告及び役員諸氏の近況など意見交換をし、方針の周知徹底を図りました。



奈良県 支部長 今年度の同窓会開催に向けて

今年度(2017年度)は、近畿地区支部長会議に合わせて奈良県支部同窓会を7年ぶりに開催予定です。同窓会開催に向けて、様々な準備が必要になります。その際は、会員の皆様のご協力が不可欠です。盛大な同窓会となりますよう、皆様のご参加をお願いします。また、若い層の皆様もぜひ積極的に参加してください。



長崎県 支部長 長崎県支部40周年達成!

昭和52年に体育学部同窓会として「第1回支部総会」を開催し、存続の危機を乗り越えながら40周年を迎えることができました。今は全学部を対象に県南(長崎市)、県央(諫早市)、県北(佐保市)の輪番制とし、昨年10月、記念すべき支部総会を諫早市で開催。2017年度は10月14日(土)、長崎市で行う予定です。



佐賀県 支部長 今年の秋は、佐賀へどうぞ

毎年11月の初旬は、佐賀市は熱気球大会と唐津おくんちで、県外から大勢の人が見物に訪れます。「2016熱気球世界選手権」は31カ国105機が参加し、期間中131万人の来場者で大変にぎわいました。同窓生の皆さん、秋の佐賀の澄みきった青空に舞う、バルーンの雄大で美しい景色を見物にぜひ足を運んでください。



鳥根県 支部長 懐かしき中京大バレー部同窓会

昨年11月、1970年度卒の男子バレー部の同窓生と本県在住のバレー部員の同窓会を松江で開催しました。46年の歳月が流れ、当時の思い出話に花が咲き有意義な会となりました。本県校友会員の皆様も、学生時代に汗水流し努力された方も多いことと思います。ぜひ部活動ごとの同窓会等も開催して頂きたいと思っております。



鳥取県 支部長 突然の地震

昨年10月21日、震度6弱の地震が鳥取県中部で発生しました。中部地区内の同窓生の被害は十数名に及びました。幸いけが人はありませんでしたが、屋根瓦が損壊した家が多かったようです。これから雪の多い季節を乗り越え、一日も早く復興に向けて頑張っていく所存です。鳥取県支部は皆、元気です!



鹿児島県 支部長 広げよう、温もりある同窓生の輪を

同窓生の皆様、いつも温かい応援をありがとうございます。おかげさまで卒業生も750名を超す支部となりました。今後も温かい友情とさらなる中京の絆を創り上げ、支部が発展するよう運営して参ります。どうぞ力をお貸し下さい。本年10月21日(土)に「県支部同窓会」を開催します。多くの参加者をお待ちしております。



熊本県 支部長 あらためて実感「中京の絆」

2016年4月、熊本地方を震源とするM7の地震が発生し、全国の同窓生から安否を気遣う声や励ましの言葉を数多く頂戴しました。全く面識のない方から、「〇〇君が熊本にいるから確認できないか?」という電話も沢山お受けしました。多くの皆様にご心配いただき、支部長として感謝申し上げます。ありがとうございました。



広島県 支部長 組織のネットワーク拡大に向けて

県支部長を引き継ぎ2年目となりました。支部では、組織のネットワーク化を図る一環として、「体育学部出身者の集い」を開催していますが、今後は他学部の方々とも連携・交流を図り、支部同窓会のネットワーク拡大を図っていきたく考えています。会員の皆様方には、一層のご理解・ご支援を宜しくお願いします。



岡山県 支部長 「ええすげえでええなあ 岡山」

支部のキャッチフレーズは、岡山弁で「いい すごい とっても素晴らしい」の意味で、同窓生の《絆》そのものです。互いを敬い、チームワークと礼節を重んじる精神をつないでいけるよう、今年度も9月23日(土)に津山鶴山ホテルで懇親会を、翌24日(日)には久米GCでゴルフコンペを開催予定です。ぜひご参加ください。



海外5支部支部長紹介 ※海外在住の同窓生募集 (Email: koyu@mng.chukyo-u.ac.jp)

<p>オーストラリア支部長 平原 照仁 1989年度 社会学部 シドニー</p>	<p>中華民国(台湾)支部長 黄 漢年 1991年度 体育学部 桃園縣 0938-318551</p>	<p>カナダ支部長 林 大輔 1993年度 体育学部 ビクトリア 250-721-9978</p>	<p>アメリカ合衆国支部長 立川 正孝 1966年度 商学部 ロサンゼルス 310-516-0366</p>	<p>アメリカ合衆国東部支部長 大場 邦明 1965年度 商学部 ニューヨーク 845-753-5648</p>
---	--	--	---	---

徳島県 支部長 2020東京オリンピックをめざして

現在、四国大学職員の中田恵莉子さん(2014年度スポーツ科学部卒)は、林英司氏の指導を受けながら東京オリンピックを目指しています。2015年度は円盤投で日本選手権3位、アジア選手権8位、全日本実業団5位。徳島県内でも、中田選手の東京オリンピック出場に期待が高まっています。



山口県 支部長 支部の絆を深めていきたい

昨年、山口県支部が発足して以来、初めて下関市以外で同窓会を開催しました。会場となった山口グランドホテルには、多数の同窓生が駆けつけ、盛況のうちに終わることができました。今後も支部の絆が深まるよう連絡を密に取りますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。



告

報

会

部

支

全国同窓会



開学から60余年の歳月が流れ、母校の卒業生は約12万人超となりました。各都道府県で組織する支部会は46支部、海外5支部、さらに学校部会やクラブOB・OG会など、縦横無尽にネットワークが広がり、年間を通して多彩な交流が展開されています。

文学部同窓会



文学部発足五〇周年を機に、卒業生有志が文学部同窓会を結成。六月十八日、同窓生百九十三名、梅村清英総長・理事長はじめ、大学関係者三十九名、計二百三十二名が名古屋観光ホテルに集い、記念すべき「第一回 文学部同窓会」が開催されました。

支部同窓会

「第三十二回中京大学全国同窓会」が十月一日、盛岡市で開催されました。同日、第七十一回国民体育大会本大会が岩手県で開幕となり、地元在住の同窓生を中心に約五十名、本学関係者を加えて約七十名が集い、交流を深めました。



乾杯の挨拶で登壇された安村学長から、熱い思いが伝えられました。

法学部同窓会



「法学部同窓会」が十二月十日、名古屋市内の名鉄ニユーグランドホテルで開催されました。同窓生約八十名、本学関係者や現役学生を加えて約百二十名が参加し交流を深めました。

海外支部同窓会



前列左より、同窓生の江、野原、上遠野(かど)の顧問、山下顧問、林支部長、長谷川、小池

台湾支部同窓会



毎年恒例となった「台湾支部年会懇親会」を九月三日、台中市裕元花園酒店にて開催しました。元中京大学体育学部陳全寿先生をはじめ、校友十五名と北川薫学事顧問、溝口貴則理事長秘書課係長、校友会関係者の皆様にご臨席賜り、総勢十九名が集結。

支部同窓会



北海道支部同窓会

同窓会総会・ゴルフコンベンション講演会懇親会を各ブロック持ち回りで開催するようになり、四年が経過しました。

二〇一三年の旭川市に始まり、帯広市、北見市と続いて昨年は函館市での開催となりました。それぞれの地で毎年新しい出会いがあり、充実した楽しい雰囲気の中で進んでおります。

二〇一七年は、札幌市で七月二十二日に開催予定です。事務局、地区理事を中心に準備を進めますので、どうぞ皆様の意見をお寄せください。

また遠方の同窓会員には、交通費の一部を補助する制度もあります。ぜひご利用いただき、より多くの同窓生の皆様にご参加いただければと思います。



(写真左から)梅山幸夫教授、石堂功卓名誉教授、石川一三夫名誉教授、住本幸三氏(69年度卒)、山口利八氏(72年度卒)

「開設当初は、教員も学生も意見を出し合い喧々諤々でやってきた」(石堂名誉教授)「創設一〇周年の年に入職したが、画期的な公募制による募集の第一号だった」(石川名誉教授)など当時の様子が語られ、卒業生の住本氏、山口

八月二十七日(土)、五年前にカナダ支部が設立された同日、ブリティッシュコロンビア州ビクトリアにて、母校から語学研修に来ていた学生たちと昼食食事を開催しました。

この食事も通算五回目となりますが、学生との交流や同窓生との再会を楽しむことができ、貴重な日となっています。また同窓生の多くがバンクーバー在住で、会場までフェリーで1時間半かかりますので、日帰り同窓会旅行といったところででしょうか。

天候にも恵まれ、二十二名の学生、会員七名、引率者を合わせ三十名で囲んだ賑やかなランチタイムとなりました。ちなみに今回は男子学生が多く、頼もしい意見も沢山聞くことができました。

支部同窓会

宮城県支部同窓会



十月十五日、ホテルメルパルク仙台にて、「宮城県支部同窓会」を開催しました。

中京大学からは副学長の種田先生、校友会本部の皆様のご臨席を賜り、母校の発展、そして「NEXT10」の卒業生連携についてお話しいただき、飛躍を続ける母校の現状を知ることができました。

続く懇親会の席には、会員二十五名が集まり、大学生活や寮生活などの思い出話や近況報告まで、旧友や懐かしい恩師と語り合いながら有意義なひとときを過ごしました。

支部同窓会

愛知県尾張支部同窓会



「平成二十八年年度尾張支部同窓会総会及び懇親会」が五月二十八日(土)、名古屋駅前百楽で行われました。

大学よりスポーツ科学部・近藤良亨教授はじめ四名の先生方にご臨席いただき、ますます発展していく母校の現状などお話しいただきました。

また、昨年三月に退職された西山修先生、山口勉先生にもご臨席いただきましたが、年に一度、大先輩方とお近づきになれる機会であり、他校の先生方とも交流できる有意義なものとなりました。また若い世代の先生方も自己紹介などを通じて溶け込み、和気あいあいとお話されました。

今後とも盛大な会にしたいと思えます。

茨城県支部同窓会



十一月十二日(土)水戸プラザホテルにて「茨城県支部同窓会」を開催。当日は総勢五十二名の方にご参加いただきました。

梅村清英総長・理事長はじめ、大学校友会本部、関東地区各支部長など多数ご出席いただきとともに、当日は梅村学園と水戸市の連携協定が結ばれた記念すべき日であったことから、水戸市長高橋様にもご臨席を賜り、華やかな会となりました。

水戸市との協定により、これまで以上に母校を身近に感じることができ、茨城県支部同窓会の活動もさらに活発にしていきたいと考えています。

埼玉県支部同窓会



二〇一六年二月二十八日(日)、パレスホテル大宮で「埼玉県支部同窓会総会」を二十四名の参加を得て開催致しました。

総会において、協議内容はすべて了承され、校友会本部よりご参加いただいた大西博視本部長をはじめ関係者の皆様より母校の近況をお話しいただきました。

また、オリンピックで女子バレーボール日本代表主将を務めた神白(旧姓飯田)高子さんに、ミューン大会(銀)、モントリオール大会(金)でのメダル獲得までの苦労話をご講演いただきました。

(高木 英朗)

岐阜県支部同窓会



昨年十一月二十六日(土)、「平成二十八年年度中部地区支部長会・岐阜県支部同窓会・懇親会」を開催しました。

梅村総長・理事長をはじめ、多くの大学関係者にもご出席を賜り、総勢八十名という華やかな会となりました。

これまで二十六年間、岐阜県支部長を務められた山脇義宏支部長の「勇退にあたり、支部長には内緒で、感謝状や記念品、花束の贈呈式を企画しました。

迎えた当日、梅村総長・理事長と同窓会顧問お二人からの贈呈に山脇支部長も感激し、思わず涙する場面も見られました。

(福島 秀一)

岐阜県高山白川支部同窓会



「高山・飛騨・白川支部 第四回総会」を六月四日(土)、二十八名が参加し、ひだホテルプラザにて開催しました。

事前の役員会で役員改正を行い、多くの方が参加できるよう取り組みましたが、若い世代から多数の参加を得ることができ、母校の先輩方よりたくさんのお話を聞くことができました。

懇親会後は、より一層声を掛け合い、若い世代の参加を促したいという意見も聞かれ、非常に有意義な会となりました。

また、柔道で活躍された白野さんを功労者表彰していただきました。今後とも多くの方に中京大学の素晴らしさを知ってもらえるよう頑張りたいと思います。

(下畑 耕一)

愛知県西三河支部同窓会



七月二日(土)、岡崎オーワホテルにおいて「西三河支部同窓会総会」が行われました。

総会後の懇親会には、大学から小山哲教授、家田重晴教授をはじめ、今井宏司同窓会顧問、鈴木揚一同窓会副会長、大西博視校友会本部長、各務豪紀課長に御来賓として御臨席いただき、盛大に開催することができました。

本会の創始者でもある今井顧問からは、当時の発足にまつわる貴重なお話をいただき、また、懐かしい学生時代のエピソードを来賓の方々と会員がともに語り合うなど、大変有意義な時間を過ごすことができました。

愛知県知多支部同窓会



二〇一七年二月十日(金)、半田市内の料理屋にて「知多支部同窓会(小・中学校県立学校部会)」を開催しました。

当日は同窓会および校友会本部から四名をお招きし、現職、OBを合わせて総勢五十二名が参加して盛大な会となりました。

また知多支部同窓会は毎年開催しており、会員の皆様には年に一度のこの会を心待ちにしていたと思います。

(宮下 幸吉)

京都府支部京丹後地区同窓会



京都府北部に同窓会支部として、平成二十二年五月に発足した京丹後支部も今年で七年目を迎え、五月二十八日、峰山町で今年度の「総会・懇親会」を、大学よりスポーツ科学部渡邊丈真教授、大西博視校友会本部長、片岡武司同窓会参与をお迎えし開催しました。

京丹後支部は、府会議員一名、市会議員三名、小中高高等学校校長を中心とする体育学部出身者、地域で活躍されている法・商文学部の卒業生併せて六十名を超える会員で組織され、その内十六名が参加しました。

当日は、丹後の美味しいお酒を頂きながら話が盛り上がり、時を忘れるほどでした。

大阪府支部同窓会



十一月五日(土)梅村清英総長・理事長、森谷敏夫同窓会長はじめ多くのご来賓をお迎えし、「支部総会・懇親会」を開催しました。

本年度は「近畿地区支部長会」が大阪で開催され、各府県支部の関係者の皆様にもご参加いただくことができました。

まずは総会にて前年度の行事会計報告が承認され、その後、集合写真撮影と母校の紹介ビデオを視聴。総長・理事長のご挨拶では、学園創立一〇〇周年にむけ、さらなる発展を確信しました。

兵庫県支部ゴルフコンペ



「第十二回 兵庫県支部ゴルフコンペ(梅村杯)」を猛暑の八月五日(金)、チェリーヒルズゴルフクラブに於いて、大学より大西校友会本部長ほか校友会三名、地元十八名が参加し開催されました。

優勝者は、久しぶりに参加された山崎泰秀氏(体51)でした。表彰式後の懇親会では、参加者一同それぞれが、兵庫で自分流にがんばってきたことや苦労したこと、その中で同窓の先輩・後輩に出会えたことなど、会話が途切れることなく楽しい時間を過ごすことが出来ました。最後に、母校のさらなる発展、そしてスポーツ科学部のより一層の充実を願いながら、エールを締めくくりました。

岡山県支部同窓会ゴルフコンペ



七月三十日、『2016情熱疾走 中国総体』が岡山市をメイン会場に開催され、街中がエネルギーに溢れる中、平成二十八年年度岡山県支部同窓会を開催致しました。

大学から森谷敏夫同窓会長、瀧克己スポーツ科学部教授をはじめ六名のご来賓をお迎えして、総勢五十名が一堂に会し、盛会裏に終えることができました。建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」のもと、若き日の熱い思いに心を馳せ、親しく語り合い懇親を深めました。今年度は九月二十三日(土曜日)に津山市で開催予定です。翌日にはゴルフコンペ「梅村杯」も行いますので、皆様の多数のご参加をお待ちしています。

山口県支部同窓会



二〇一六年十一月十九日(土)、山口グランドホテルにて、大学から安村仁志学長、相羽由光、森田大延同窓会副会長をはじめ大学関係者七名、中四国地区から八名の支部長にご参加いただき、「山口県支部同窓会」を開催しました。

大学の近況報告や紹介DVDで、発展と飛躍を続ける母校の現状に感心し、続けて行われた懇親会では、大学時代の思い出に盛り上がる同窓生や初参加の先輩、若手も皆、満足していました。私自身、同級生が支部長代理で参加してくれており懐かしさで語り合いました。最後は、校友会大西博視本部長の音頭で全員が肩を組み、学歌を声高らかに歌い閉会しました。(浜岡 藤生)

徳島県支部同窓会



八月、暑い夏がやってきました。徳島県支部恒例の「阿波踊り」の時期です。徳島は八月二十五日の四日間、踊り天国になります。中京大学連も有名連「八千代連」と合同になり、校友会本部学生と機敷に繰り出しました。

今回はフィギュアスケートで活躍された小塚崇彦さん・大島由香里さん夫妻も加わり、楽しく踊ることが出来ました。次年度は「中国・四国ブロック支部長会」が徳島で開催予定です。この機会に、新しい風を起すためにも支部長交代を検討中です。若し支部長に活気ある支部活動を期待しています。ブロック支部長会には、多くの支部長の皆さんが来県される事を楽しみにしています。

高知県支部同窓会ゴルフコンペ



二〇一六年六月四日(土)、高知駅前ホテル高砂にて「高知県支部総会懇親会」を開催しました。

ここ数年、出席者が減少傾向にある中、前年より九名増(初参加十四名)総勢三十三名の方にご出席いただき懇親会もおおいに盛り上がりました。初参加の方の中には、支部会員名簿筆頭(63年度卒女性)の大先輩もおり、事務局としても大変嬉しいことでした。翌五日(日)のゴルフコンペは三十六名の参加をいただき、盛況の中で親交を深めることができました。卒業生の皆様、今年も支部総会とゴルフコンペに多くの方々にご参加いただけますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。(西内 学)

支部同窓会

熊本県支部城北地区



二〇一六年は、古希を迎えられた阿蘇品賢治先輩の祝宴を五月あげたところですが、十二月二日(金)に恒例の「熊本県支部城北地区忘年会」を山鹿ニューグランドホテルにて開催しました。

今回は参加者十名のうち、校友会本部の各務豪紀課長にお越しいただきました。各務課長は熊本地震の際、被災された会員に校友会を代表してお見舞いに来ていただきましたが、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

仮設住宅などは完成し、体育館スポーツ施設等も少しずつ機能し始めていますが、液状化した地区では生活基盤を一変する選択を余儀なくされている方もおられます。今後も熊本県を末永く見守りいただけたらと思います。(星子 和夫)

宮崎県支部懇親会



二〇一六年十月二十二日(土)、宮崎駅前のホテルスカイタワーにて、「宮崎県支部懇親会」が開催されました。

母校からは安村仁志学長、土方清同窓会顧問をはじめ大学関係者十名九州地区支部長七名の参加のもと、盛大な会となりました。野中芳郎支部長「ご来賓の挨拶に続いて、中京大学の紹介DVDを鑑賞し、母校が総合大学として大きく飛躍発展していることに参加者一同誇らしく思うと同時に、感銘を受けました。その後行われた懇親会では大学時代の思い出や仕事、趣味などについて語り合い、有意義な時間を過ごすことが出来ました。最後に学歌を斉唱し、再会を誓って幕を閉じました。(坂田 洋一郎)

長崎県支部同窓会



平成二十八年十月十五日(土)、諫早市の諫早観光ホテル(土)、諫早市の諫早観光ホテル道真屋において、支部同窓会四〇周年目の記念すべき「長崎支部同窓会」を開催しました。

今回、「ねりんピック」で来県中の福岡県在住藤崎さんの参加があり、当支部の雰囲気を感じ取っていただけだと思います。総会では決算監査報告、支部活動への意見交換や次年度開催地の確認等を行い、その後の杯を酌み交わしながら、参加者全員への近況報告と支部恒例の還暦者への記念品贈呈を行いました。また懐かしい思い出話や仕事、趣味、近況など話題に欠くことなく大変盛り上がり、学歌を斉唱して、次年度の再開を誓い盛況のうちに散会しました。(妻鹿 実)

沖縄県支部同窓会



二〇一七年一月十一日(土)、那覇市の沖縄県青年会館において「沖縄県支部同窓会」が開催されました。当日は校友会本部より二名のご出席を賜り、沖縄県支部からは三十七名の参加をいただきました。沖縄県支部は今年度より大城良孝新支部長となり、新支部長のもとで一回目の同窓会となりました。

懇親会では宮城前支部長の長年にわたるご尽力に感謝の意を表するとともに、新支部長をはじめ新役員の紹介が行われ、大学からは校友会・大西博視本部長より母校の近況をお話しいただきました。また、沖縄県支部の活動報告や文部科学大臣表彰受賞者紹介なども行われた後、全員で学歌を斉唱して締めくくりました。

学校部会

八豊会総会



名古屋市立小・中特別支援学校の同窓生による「二〇一六年度 八豊会総会懇親会」を、五月二十日(金)に中京大学センタールビルで開催しました。

新会員十名を含む四十八名が集結。総会では、規約改正の報告をはじめ、研修部・青年部・広報部の活動報告、会計報告等を行いました。八豊会のさらなる発展に向け、参加者一同、思いを一つにすることができました。懇親会では、梅村総長・理事長をはじめとする来賓の方々から、激励の言葉を賜りました。また、新規採用者や栄進者からは、教育に対する熱い思いが語られました。その他、意見交換などで盛り上がり、終始なごやかに懇談が進み、有意義な会となりました。

愛知県学校部会総会



「二〇一六年度 愛知県学校部会」を六月四日(土)、名古屋キャンパスで開催しました。

総会後の懇親会には、安村仁志学長はじめ多くの来賓の皆様にご臨席いただき、総勢一〇〇名を超える同窓生が参集する壮大な懇親会となりました。安村学長からは、発展する大学の近況および学校部会に対する激励の言葉をいただきました。

会は終始、なごやかなムードで進み、参加者一同、校種を超えての親睦を深めるとともに、母校のさらなる発展と会員がますますの活躍、そして再会を誓い、盛会裏に終えることができました。

(小瀧 英一)

愛知県学校部会ゴルフコンペ



二〇一六年八月十六日(火)、春日井市にあるオールドレイクゴルフ倶楽部において、恒例の「愛知県学校部会ゴルフコンペ(梅村杯)」が開催されました。

当日は母校中京大学から本暢専務理事にご参加いただいたなど、同窓会員を含めて全十二名が参加。

まずはスタート前、全員で記念写真を撮影すると、早速、熱戦の火ぶたが切られました。

真夏の暑い盛り、開始直後から気温がみるみる上昇していく過酷な大会でしたが、一打一打に一喜一憂しながら、ふだん交流のない大学関係者の方々と同窓会員とが親睦を深める素晴らしい機会となりました。

愛知県学校部会特別支援総会講演会



「愛知県学校部会特別支援教育部会」を九月三日(土)ルブラ王山にて開催しました。

総会では事業報告、役員の変更案を提案し、承認いただくとともに、本年度研究集録一号発刊をご報告し参加者に配付。

総会後の講演会では、愛知県立豊田高等特別支援学校校長・黒谷厚志先生から「特別支援教育の今」という演題で講演いただきました。また懇親会には、愛知県教育委員会特別支援教育課長 吉田伸一様、中京大学安村仁志学長を始め、多くの来賓の方々に出席いただき、総勢百名を超す参加者で盛大に行われました。

最後に片岡武司校友会参加からエールをいただき、参加者全員が学歌斉唱で締めくくりました。

愛知県学校部会管理職行政職懇親会



十月二十九日(土)、東急REIホテルにて「愛知県学校部会管理職行政職員懇親会」を開催しました。

ご多忙にもかかわらず、中京大学からは安村仁志学長はじめ多くの学校関係者の皆様にご来賓として出席いただきました。

懇親会では、懐かしい学友と話を弾ませつつ、行政または教育現場で愛知の教育を支える先生同士、活発に情報交換が行われました。また先輩の先生方からご指導を仰ぎ、来賓の方々とも懇親を深めました。

会の締めくくりは、恒例の学歌斉唱です。同窓生としての一体感を感じながら閉会しました。

石川県学校部会



「二〇一六年度 石川県学校部会」を金沢東急ホテルで十一月十九日(土)に開催したところ、会員と大学関係者を合わせ五十名が参加し盛大に行われました。

会の前半では、中京大学同窓会会長、森谷敏夫様より「生涯現役のための面白健康学」と題してご講演を賜りました。

後半の懇親会では森谷会長を始め大学関係者の方々および、石川県教育委員会教育次長様を来賓としてお迎えし、なごやかで有意義な懇親の場を持つことができました。

次年度においても十一月十八日(土)に開催を予定しています。同窓生の多数の参加を期待します。

(加藤 法栄)

学校部会

三重県学校部会



平成二十八年十一月二十三日(祝)、「三重県学校部会総会懇親会」を津のプラザ河津で開催しました。

来賓には梅村清英総長、理事長をはじめ七名の先生方等にご出席いただきました。当会員からは、昭和三十七年度から平成二十七年年度の卒業生まで幅広い世代の出席があり、総勢五十六名が集いました。

大学当時の楽しい思い出や近況を語り合い、有意義な時間を共有することが出来ました。

次回、第二回学校部会も十一月二十三日(祝)に「本県支部総会懇親会」と合わせて実施したいと思っています。多数のご参加をお待ちしております。

(平岡 一能)

愛知県学校部会真立高等学校部会



十二月十七日(土)、名鉄ニューグランドホテルにて「愛知県学校部会真立高等学校部会」を開催しました。

中京大学安村仁志学長をはじめ十名のご来賓の皆様にご臨席をいただきました。

また、本会の礎を築いてくださいました木村泰三先生・鈴木揚一先生をはじめとした六名の管理職OBの先生方にご出席していただき、世代を越えた親睦や情報交換など、大変充実した会となりました。

今後も会員相互の連携を一層深め、本会の役割を果たしていきたいと考えています。

(松平 伸一郎)

北海道学校部会



二〇一七年一月十二日(木)、梅村清英総長、理事長をはじめ、片岡同窓会参与、小山理事秘書課長、大西校友会本部長、各務校友会本部課長、飯田校友会参与のご臨席を賜り、記念すべき「第十回学校部会」を開催しました。

総会後は、中京大学スポーツ科学部・桜井伸二教授により、「スポーツ科学が本場に目指すもの」と題し、講演いただきました。またその後、同窓会DVDの上映、そして梅村総長・理事長にもご挨拶いただき、教育懇談会が盛大に行われました。今回も年代を超えた学校部会の絆をますます深めることができました。

ご協力いただきました同窓会、校友会本部の皆様には厚くお礼申し上げます。

(金田 英司)

中京挙母会



一月二十日、名鉄トヨタホテルにおいて「第二十九回 中京挙母会」を開催しました。

大学から学長安村仁志様をはじめ十一名の大学関係の皆様、また豊田市からは豊田市長、教育長、学校教育課長にもお越しいただいて、総勢九十名で盛大に行うことができました。

ご来賓の皆様から、多くのご指導や励ましのお言葉をいただき、中京大学同窓生としての自覚と教育に対する意欲も、より一層高まりました。

今年には新入会員八名を加え、個々の現状報告もユーモアたっぷりに行われるなど大変盛り上がり、最後は学歌斉唱と片岡参与の熱い応援エールで締めくくって有意義な一時を過ごしました。

(内藤 博己)

岐阜県特別支援学校部会設立



岐阜県の特別支援学校には六十名を超える中京大学出身者が勤務しています。その状況を把握し、相互の親睦と連携を図るため、この度「中京大学同窓会 岐阜県特別支援教育部会(仮称)」を設立しました。去る二月二十一日(土)、岐阜都ホテルにおいて校友会本部より飯田晃参与に出席いただき、二十一名が参加して設立総会・懇親会を開催しました。

会長には鈴木隆司(S53卒、可茂特別支援学校校長)、副会長に船渡千賀子(S55卒、飛騨吉城特別支援学校校長)、事務局長として後藤秀仁(S55卒、各務原養護学校教頭)が中心となり、今後名簿を作成し、年一回程度の研修会、懇親会の開催を目指します。

(後藤 秀仁)

クラブOBOG同期会

中京ジュニアカップ体操新体操競技交流大会



「第二十回 中京ジュニアカップ体操・新体操競技交流大会」を、新体操はスカイホール豊田で二月に、体操競技は中京大学豊田キャンパスで三月に開催しました。

新体操は団体女子十九、男子三チーム、個人二百二十二名、体操競技は男女各五十六名の参加で行いました。スカイホール開催の新体操は二年目で、会場が広く、選手・応援の方にも好評でした。

本大会に出場していた寺本明日香選手が、リオ五輪で女子団体四位入賞に貢献。個人総合でも八位入賞と、五十二年ぶりの快挙となりました。今後とも応援・支援をよろしく願います。

(野々部 利夫)

心理学科同期会



昨年五月二十八日(土)、名鉄グランドホテルにおいて「文学部心理学科二期生同期会」が久しぶりに開催されました。

幹事の本地洋一さんのおかげで、卒業生七十名のうち、物故者や住所不明者を除いた六十人中三十五名の出席があり、北は山形県、南は沖縄県からもご参加いただきました。

顔を合わせれば、すぐに学生時代の懐かしい思い出話に花が咲き、予定の時間がまたたく間に過ぎてしまいました。

その後、名古屋キャンパスセンタービル、本部棟などを見学し、一同、大変感激していました。話は尽きませんでしたが、健康に留意し、再会を約束して気持ちよく辞することができました。

(杉本 攸介)

中京大学体育学部38会



「中京大学体育学部38会」が六月二十一日、福井県あわら市芦原温泉灰屋において開催されました。

すでに後期高齢者の仲間入りをしたメンバーでしたが、皆顔を合わせると、大学生の頃に逆戻りで、時の経つのも忘れて話に花を咲かせました。

ホテルのご厚意で、二次会場ではカラオケをご用意いただき、歌に話にと夜遅くまで…

しかし残念なのは、参加者が体の都合などで、だんだん少なくなることであります。

そして翌日の朝、次回は岐阜で会いましょう、と約束をして解散いたしました。

体操部創部六〇周年記念祝賀会



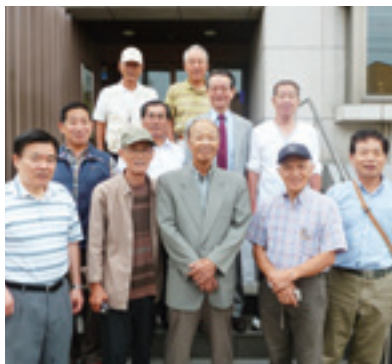
九月十日(土)、名古屋キャンパスにて「中京大学体操部(体操競技部 新体操部)創部六〇周年記念事業」として、記念講演会・祝賀会を開催しました。

体操部OBの森谷同窓会長による講演は、「生涯現役の運動栄養学」として実践的で大変分かりやすく、一同、感銘を受けました。

記念式典祝賀会は、ご来賓に(公財)日本体操協会副会長、愛知体操協会副会長、豊田市体育協会長、母校からは総長・理事長、学長、副学長、体育会長などに加え、約一五〇名の同窓生と現役部員らが参加。全国数百人の同窓生のご援助もあり開催できました。

世代を超えた語らいはどこまでも和やかに、最後に参加者の活躍を祈念しエールを送りました。

体操部四十一年度同期会



十回目となる同期会「トナ会」は、体操部六〇周年事業と日程を合わせ愛知県で開催しました。長谷川憲氏と吹原博氏を幹事に、九月十日に母校で開催された祝賀会に出席。その後、ホテルへ移り、青森、高知、鹿児島など遠方の参加者を含む十一名で恒例のトナ会がスタートしました。

今回は二泊三日の日程で、安城、豊田、岡崎、蒲郡と名所めぐりを楽しみましたが、宿では温泉に浸かつて疲れを癒し、豪華な料理に舌鼓を打ちながら、例年のごく合宿気分、近況報告や学生時代のエピソードで盛り上がりました。

周年記念の祝賀会で、幾多の先輩や後輩に会い、語らうことができたのは二重の喜びでした。今回は三重県で開催予定です。

(市川 絃二)

クラブOBOG同期会

詩舞道部友の会



九月十日(土)、「第3回 詩舞道部友の会」を名古屋キャンパスで開催しました。

今回は、母校を見たいという先輩諸氏の要望に応え、元部室や二号館の練習教室、本館、図書館などの見学から始まり、参加者は昔を懐かしむと同時に、母校の発展ぶりに驚愕し、一喜一憂していました。

サロンドヤマテを会場に行われた懇親会には、初参加の二名を加えて十八名の参加がありました。鶴之園先輩の音頭で乾杯したのち、昔話に花が咲き、終始会話と笑いに包まれました。

恒例の自己紹介と近況報告では大いに盛り上がりました。最後に全員で学歌を斉唱、部詩を合吟して閉会としました。

(大西 博視)

美術部OBとしわ会



九月十三日(火)〜十八日(日)「第十六回 美術部OBとしわ会展」を名古屋市民ギャラリー栄にて開催しました。

会員会友十四名に加え、賛助作品として学園美術会最高顧問 梅村清弘名誉総長にもご出品いただき、油絵、水彩、アクリル他計三十九点の展示となりました。

全体的に昨年よりハイレベルで質の良い力作が多く、七百余名の来場者より好評を頂きました。また十六日(金)には親睦会も行われ、七名の出席者と大いに盛り上がりました。

第十七回展も同会場で五月三十日(火)〜六月四日(日)に決定しております。同窓生、大学関係者からの参加を心よりお待ちしております。

(川窪 元雄)

体操競技部同窓会



十月二十九日(土)、「体操競技部同窓会」を名鉄ニューグランドホテルにて開催。今回は対象者を昭和五十年〜五十三年度、そして五十三年度組が一年生の時の四年生までとしました。

体育館で顔を合わせて練習している、つまり顔見知りであるということと名簿を作成し、約百名に通知したところ、岩手、宮城、埼玉、茨城、栃木、新潟、東京、群馬、静岡、愛知、三重、岐阜、大阪、兵庫、京都、滋賀、島根、福岡、宮崎、沖縄、オーストラリアから四十四名(男三十一名・女十三名)集まり、盛会裏に終わることが出来ました。

次回は二〇二〇年、東京オリンピックの年に開催することを約束して幕を閉じました。

(吉田(旧姓浅野)正明)

珠算部OBOG会



ホームカミングデーに合わせ、珠算部OBOG有志の個性の強いメンバーで「あく友会」を開催。福岡や静岡、三重からも駆けつけ、立派な学舎に驚きつつ、四号館西館に当時の面影を見つけては懐かしい気持ちになりました。

清光先生、清明先生、すみ子先生のお墓参りをしたのち、梅村学園一〇〇周年記念講演会に臨み、大学祭を見物してから、卒業生のオーナーのお店「トロン」にて「懇親会」、物故者を偲びました。かつて珠算部は五十名が在籍する自慢の部で、思い出話は尽きることがありませんでした。

今も現役の珠算選手・黒川謙二君は暗算の部で十六連勝中であり、二十連勝の暁には、お祝いすることを約束し激励しました。

(渡邊 勇)

中京大MOT会



中京大MOT会は「同窓生が世代を超えて親交を深めることを目的」とした会であり、名刺交換会や出逢った仲間が「もっと交流を深めたい」という想いをきっかけに有志で立ち上げた会です。

二〇〇九年の発足以来、開催回数は二十五回を超え、二百名の会へと成長しました。

年四回の懇親会だけでなく、個別なイベントなど活発な活動も立ち上がり、ますます活気がついています。懇親会では、同窓生ならではの温かい雰囲気の中、普段味わえないようなアットホームな関係を築いています。会を重ねる度にメンバーが増えています。是非お気軽にご参加ください。

(担当 柘本敏寛・加藤 明)



一九六五年に洋弓同好会として発足し、翌年洋弓部へ昇格。二〇〇〇年には「アーチエリート」と改名、創部から現在までに二百六十名の部員を輩出しています。

昨年十一月十二日(土)には、「創部五〇周年記念懇親会」を豊田市内で開催。卒業生を含む六十九名が集まり、安村仁志学長、松村信美前部長にも臨席いただき大いに盛り上がりました。翌十三日(日)は、学内アーチエリート場において卒業生十六名、現役学生十七名とで「創部五〇周年記念大東杯」の記念試合を行い、卒業生が優勝、準優勝、三位と上位を独占。試合参加および応援見学の卒業生たちは、良き学生時代を懐かしく思い、気持ちも少し若返って帰宅したようでした。(佐藤 泉)



十一月十六十七日に「リフレッシューン越前」かにと蕎麦を食す」と銘打って、土方清元同窓会長を始め42~49年度卒の十五名が芦原温泉で懇親を深めました。十六日は福井駅に集合して朝倉氏遺跡と永平寺、十七日は養浩館庭園と大安禅寺で法話、そしてそば打ち体験と盛りだくさんな旅程で越前を堪能しました。次回は二〇一八年に知多・渥美方面での開催を予定しています。現在、証券研究会は部活動として存続していませんが、36~53年度卒への連絡は可能ですので、幅広く絆を深めていきたいと思っています。 ※通知がない方は幹事・金井良司(090-160616493)までご連絡ください。(小林 富生)



十二月十日(土)、ローズコートホテルにて、ご来賓を含め、学生・卒業生総勢百三十名が集い、「西日本学生優勝祝賀会・木口監督に感謝する会」を開催しました。OB会長横江忠志による開会の辞に続いて、安村学長、岡田明西日本学生ソフトテニス連盟会長による来賓ご挨拶、梅村清英総長理事長の祝電披露、北村和久三重県ソフトテニス連盟会長による乾杯で会が始まりました。木口監督の戦況報告の後、OB会から部長、監督、コーチ、選手に記念品を、勇退される木口監督には感謝の品が贈られました。その後、試合の様子や昔話で盛り上がり、愛知県ソフトテニス連盟副会長の音頭による万歳三唱、OB会副会長太田信政の挨拶で閉会となりました。

二〇一六年三月五日(土)、名古屋キャンパスセンタービルにおいて、「愛知県名古屋市新任教員採用試験合格者(百二十一名)の研修会懇親会」を開催しました。第一部では、愛知県学校部会の管理職の方々が、四月から教員となる皆さんを対象に、教育者として現場で戸惑うことがないよう、初任者の心構えや準備など、詳細にお話しいただきました。第二部は、キャンパス内のイタリアントマトに席を移し、懇親会が開催されました。採用試験合格者の皆さんは研修会で聞けなかったこと、合格者同士での懇談など、大いに盛り上がり、あつという間に時間が過ぎ閉会となりました。

二〇一六年五月二十八日(土)、名古屋キャンパスセンタービルにおいて、名古屋市教員採用試験に向けた学習会が催されました。名古屋市の小学校・中学校・特別支援学校教員で組織する同窓会(八豊会)の有志が集まり、教員を志望する母校の卒業生・在学生を指導するもので、二十八名が参加。

名古屋市教員採用試験に向けての心構えや模擬記述試験、模擬面接指導など、きめ細やかな内容で実施されました。本年度採用された卒業生からの最新のアドバイスもあり、試験を控えた後輩たちは、説明者の話を真剣に聞き入っていました。

愛知県警察官採用試験の一次試験にみごと合格し、二次試験を目指す学生を対象に、「愛知県警察官採用試験面接講習会」が開催されました。

二〇一六年五月二十六日(木)、会場となる名古屋キャンパスに集まった参加者九十名は皆、スーツ姿に緊張した面持ちで講習会に臨みました。

問題集や参考書だけでは学ぶことのできない小論文や面接テクニック、近年の採用傾向や細かな注意点など、その道を歩んだ先輩の的確なアドバイスを耳を傾けていました。

二〇一六年度の同窓会「課外活動奨励賞」の授与式が、五月三十日(月)と十二月二十一日(水)に、豊田キャンパスで開催されました。

この賞は、課外活動で優秀な成績を挙げた学生及び団体を表彰することにより、課外活動を高揚しようと二〇〇四年四月に制定されたものです。毎年、上半期(四月~十月分)を十二月、下半期(十一月~三月)を五月に表彰しています。

今回、授与された方々は、二〇一五下半期が体育会の個人六名と六団体、二〇一六上半期が個人五十四名と十二団体で、授与式には学生と所属団体の部長・監督が出席し、賞状と奨励金が授与されました。今後と

も社会、文化、スポーツに大いに活躍され、母校の発展に貢献されますことを期待します。



Table with 2 columns for regional membership statistics (e.g., 北海道, 近畿, 中国四国, 九州沖縄) and 1 column for the number of members per year (17-22).

※各都道府県支部同窓会は、原則として7年に1度の開催になります。 ●...地区支部長会 ★...全国同窓会(団体開催県)

Table with 7 columns: 支部 (Branch), 開催日 (Date), 開催地 (Venue), 会場 (Location), 住所 (Address), アクセス (Access), 電話番号 (Phone Number).

名古屋キャンパス内

放送大学

通信制大学の、バックアップ拠点として。



テレビやラジオによる講義を視聴し、マイペースで学びながら大学卒業資格を得られる通信制大学が「放送大学」です。本学センタービル四階にある「愛知学習センター」は、その北陸・東海地区における拠点で、メディアを介した一方向の授業に偏らないよう、スクーリングによる面接授業を実施しています。現在、学部学生、大学院生合わせて三千名余が在籍していますが、向上心あふれる社会人学生を支え、人間交流をサポートするのも本学の大切な役目と考えています。

オープンカレッジ

学びの機会、学ぶ喜びをより多くの方に。



中京大学では、一般の人々が参加できる生涯教育の場として、春期・秋期と「オープンカレッジ」を開講。文学、心理学、法律、経済、英語を始めとする語学から一般教養まで幅広く網羅していますが、基本的に本学教員の専門分野の講座と語学を二つの柱として構成しています。語学学習などはとくに、個々のレベルに応じて選択できる上、開講時間も午前・午後・夜間と利用しやすいよう配慮。より多くの方々の生涯学習への旺盛な意欲をサポートしています。



中京大学スポーツ学生スタッフの小林さん(右)。

TOPICS 報知新聞社主催「第十回大学スポーツ新聞コンテスト」の表彰式が一月九日、報知新聞大阪本社で行われ、中京大学のスポーツ新聞「中京大学スポーツ」が特別賞を受賞。宮川編集局長から学生スタッフ代表の小林さんに表彰状が授与されました。

中京大学は、第八回コンテストから中部地方の大学で唯一参加してきましたが、受賞は今回が初。関東、関西の大学を中心に計十三大学が参加する中、原稿、写真、レイアウト、企画の四部門において、「原稿のレベルが全体的に高く、一般紙的なつくりだが非常に安定している」と評価を得、今回初めて設けられた特別賞に輝きました。「一位と比べて遜色ない」との声もあり、次回がさらに楽しみです。

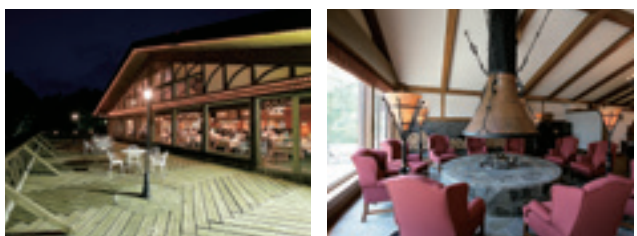
校友会本部からのお知らせ

セミナーハウス 風光明媚なリゾート地に佇む、ゲストハウスをぜひ学生気分です。

レイクビュー白馬



信州・白馬山麓に位置する神秘的な青木湖を眼下に望むセミナーハウスが、「レイクビュー白馬」です。標高900メートルに位置し、冬は目の前にあるファミリーゲレンデでウィンタースポーツを満喫。また八方、柵池、立山アルペンルートなどのトレッキングや青木湖でのフィッシング、安曇野周辺の美術館めぐりなど、スポーツからレジャーまで、オールシーズン楽しめる休日の拠点として気軽にご利用いただけます。夕食は地元の食材をアレンジした、洋食のフルコースをたっぷりご堪能ください。

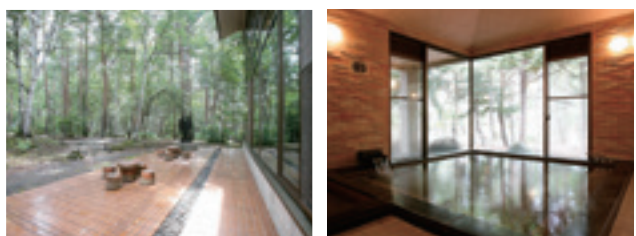


〒398-0001 長野県大町市大字平エビスマ23370
TEL:0261-21-4500 FAX:0261-21-4510
[1泊2食(平日)8,100円~]

マウントビュー蓼科



南・中・北アルプスとハケ岳連峰の雄大なパノラマを望み、36,000平方メートルの広大な敷地に佇むのが「マウントビュー蓼科」。標高1,500メートルの高台にあり、周囲は白樺林に囲まれた閑静な別荘地。森の中で野生動物と出会ったり、星空を眺めたり。大自然と戯れ、澄んだ空気を深呼吸すれば、心からリラックスできることでしょう。館内にはサウナ付きの大浴場、さらにはテニスコートなど屋外施設も充実。お食事は季節の食材をふんだんにあしらった、和食中心のメニューをお楽しみいただけます。



〒391-0213 長野県茅野市豊平字東嶽4734-2841
TEL:0266-76-2588 FAX:0266-76-5539
[1泊2食(平日)8,000円~]

個人情報保護法への対応について

【基本方針】
校友会本部における個人情報の取扱い、次の方針で行います。
①利用目的をできる限り特定し、必要な範囲に限って個人情報を取得します。
②利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて個人情報を利用します。
③取得した個人情報は、本人の同意を得ることなく、第三者に提供しません。
④情報セキュリティ対策をはじめ、個人情報の紛失、漏えい等の予防に努めます。
⑤外部への業務委託については、個人情報の保護に関する契約の締結及び委託先に対する監督を行い、情報の管理に努めます。
⑥本人から個人情報の開示・訂正等の請求がなされた場合は、その請求を尊重して対応します。

【具体的方針】
①会員データの利用目的は、会則に定める「会員相互の親睦を図り、中京大学の発展に寄与すること」に必要な各種案内や刊行物の発送に限り、それ以外の目的には利用しません。

②校友会本部が管理する個人情報のうち、「会員ナンバー、卒業年度、学科、氏名、住所、電話番号、勤務先名、職名、勤務先電話番号」を各県支部長(部会長)及び各OB会長に提供します。ただし、提供するデータは各所属会員のものに限り、※この場合の各県支部長(部会長)・各OB会長は、(法21条に定める)校友会本部の従業者に該当します。
③個人情報は校友会本部が一元管理し、従業者が個人情報を適正に管理するように監督します。
④従業者以外の方には、個人情報を提供しません。(同窓会名簿は発刊しません。)
⑤第三者が情報の提供を求めてきたときは、校友会本部がその要件を本人に取り次ぎます。(本人が必要と判断した場合は、本人から相手方に連絡をとっていただきます。)
⑥本人から個人情報について削除の請求がなされたときは、その請求を尊重して対応します。
※個人情報の削除を希望される方は、校友会本部へご連絡ください。所定の手続きの後、データを削除いたします。ただし、削除後は中京大学広報や同窓会通信等の刊行物及び同窓会やホームカミングデー等の開催案内が一切届かなくなり、※のでご承知おきください。

中京大学同窓会 二〇一五年年度 決算報告書

収入		支出	
前期繰越金	67,644,922円	支部同窓会開催費	19,478,859円
会費	156,290,000円	全国同窓会開催費	3,084,024円
支部同窓会参加費	2,440,000円	新春賀詞交歓会開催費	7,171,538円
全国同窓会参加費	219,000円	ホームカミングデー開催費	3,842,419円
新春賀詞交歓会参加費	969,000円	会報発行費	15,333,020円
中京大学UCSカード販売協力金	332,703円	通信費	27,897,202円
受取利息	26,917円	広告費	403,110円
雑収入	3,426,757円	奨学費	47,160,000円
戻入金	253,740円	課外活動奨励費	6,750,000円
合計	231,603,039円	合計	231,603,039円